



INTELLISPEC™オペ レーターガイド

ソフトウェアのバージョン: 6.0ソフトウェア

本書の部品番号: 82056 REV. 01

著作権表示/連絡先

© 2021 Pressco Technology Inc. All rights reserved.

本書のどの部分も、どのような目的であっても、Pressco Technology Inc.の書面による明示的な許可を得ずに、電子的であろうと機械的であろうと、どのような形式または手段でも、複製することも譲渡することもできません。

本書の内容は情報提供のみを目的とし、予告なしに変更されることがあり、Pressco Technology Inc.による確約を表すものではありません。

著作および編集者:

Pressco Technology Inc. World Headquarters

29200 Aurora Road

Cleveland, OH USA 44139-1847

TEL +1-440-498-2600

FAX +1-440-498-2615

www.pressco.com

営業時間: 月曜日～金曜日、8:00 am～5:00 pm(東部時間)

カスタマーサポート:

テクニカルサポートおよびリモートサポートの要請: techsupport@pressco.com

年中無休カスタマーサポート(緊急のシステム支援): +1-440-498-2000

電子メール: サービス訪問日調整: dispatch@pressco.com

テクニカルサポートおよびリモートサポートの要請: techsupport@pressco.com

カスタマーサービスFax: +1-440-498-4761

目次

セクション 1 Presscoについて	7
この取扱説明書について	7
静電気放電保護	8
セクション 2 安全情報	9
健康上の警告:光過敏性てんかん	9
このシステムに使用されているシンボルマーク	10
アーク溶接に関する警告	11
ラベルの説明 – Intellispec	11
警告 デバイス	12
残留リスク	12
使用目的	12
禁止事項	13
身体保護具	13
従業員の身体の保護	13
重量物の持ち上げ	15
認定ユーザー	15
補修部品の使用	16
セクション 3 システムの仕様	17
環境条件	17
出力音圧レベル	17
仕様 – Intellispec Series 6	18
セクション 4 EU適合宣言	20
適合宣言 – Intellispec S6 System	20
適合宣言 – 4 Camera CPX Inspection Module	21
セクション 5 設置	22
輸送および荷扱い	22
設置前の推奨事項	22

お客様の側で用意していただく必要があるもの	23
保護接地	23
電氣的接続	24
外部との接続	24
排除バルブ圧縮空気配管接続図	24
設置	25
換気	25
ユーザーインターフェースの安定性	25
試運転	25
セクション 6 Intellispec Series 6システムの操作	27
オンライン – オフライン	27
部品の変更	27
Intellispecソフトウェアの終了	28
セクション 7 Intellispecコントロールキャビネット およびユーザーインターフェースS6	29
USBポートS6	30
生体認証ログインデバイス	30
コントロールキャビネットでの電源のオン/オフ	31
電源オフでの内部コンポーネントへのアクセス	31
ロックアウト手順	31
電源オンでの内部コンポーネントへのアクセス	32
Intellispecシステムのレポート	33
コンポーネントと相互接続図	35
セクション 8 ソフトウェアの概要	40
ログインおよびログアウト	40
「ログイン」メニュー	40
4 ソフトウェアの画面	41
統計メニュー	44
画面に表示されるキーボード(OSK)	45

メニューツールバー	47
スターメニュー	47
言語	48
部品搬送速度	49
セクション 9 アラーム	50
アラームを表示して解除する	50
機械部品アラームを表示して解除する	51
システムアラーム—説明および設定	52
レーンアラーム—簡単な説明	53
センサーアラーム—簡単な説明	55
リジェクターアラーム—簡単な説明	56
機械部品アラーム—簡単な説明	56
セクション 10 グラフ	58
ウォークバイグラフィックの概要	58
グラフのデータを並べ替える	59
機械部品統計情報の消去	61
グラフをスクロールする	62
トレンドグラフ	62
機械部品グラフ	63
検査グラフ	63
セクション 11 統計およびレポート	65
統計グリッド	65
統計グリッドのオプション	66
レポート	67
エラーメッセージ	71
セクション 12 画像を保存する	72
スクリーンショットを撮る	72
画像を保存する	72

不良検出時一時停止	73
排除された部品の画像	78
セクション 13 ヘルプおよびサポート	82
ヘルプ	82
リモートサポート	82
バージョン情報	86
バックアップおよび復元メニュー	88
セクション 14 メンテナンス間隔	92
メンテナンス作業に関する注意事項	93
コントロールキャビネットフィルターの清掃	93
光学系表面の清掃	94
ガラス面の清掃	94
プラスチック表面の清掃 - 概要	94

セクション 1 Presscoについて

ご挨拶

この度は、Intellispecシステムをご購入いただきありがとうございます。Intellispecは、製造およびオンラインプロセスの監視用として特別に設計されている高速マシンビジョンシステムです。Intellispecは、人間の目やサンプリング法よりも、はるかに信頼性の高い検査を可能にする強力なツールです。Intellispecは、最新のPCテクノロジー、強力な検査アルゴリズム、オンライン調整機能、および検査データストレージにより、非常に高速に流れるライン上の部品を、極めて正確に自動的に検査することができます。

Intellispecは、得意先に最高品質の製品を提供するのに役立ちます。

この取扱説明書について



重要: 本書をいつでも参照できるように適切に保管しておいてください。

本書も、本システムの一部ですから、本システムの使用に際して、いつでも参照できるように手元に保管しておいてください。

本ソフトウェアの、作業担当者レベルのユーザーが使用する機能、安全情報、およびメンテナンスについて説明することが本書の目的です。

本書:

- Intellispec version 6.0が対象です。本書の内容は予告なく変更されることがあります。
- 乾燥した場所に良好な状態で保管し、本システムを使用して作業を行う担当者が、いつでも参照できるようにしておく必要があります。
- 本システムの販売および納入時点で実装されたテクノロジーが含まれ、本機に対する、または本書に記載の図解に対する技術的拡張を行う場合でも、本書の内容が適切でないと見なされることはありません。

同梱の関連資料:

- Intellispecソフトウェア管理者ガイド – Intellispecソフトウェアのすべての機能の説明が記載された、管理者レベルのユーザー向けのマニュアル
- Intellispecハードウェアガイド(オプションに関する説明) および検査モジュールに関する補遺

本書内で、下記の警告が使用されていることがあります:



危険! : 重大または致命的な人身事故が発生する可能性のあることを示します。負傷を防止するために遵守しなければならない重要な事項が記載されています。



警告: 負傷、データの損失、または機器の損傷を防ぐために遵守する必要のある事項が記載されています。



注意: データの損失、システムパフォーマンスの低下、機器の損傷などを防止するために遵守する必要のある重要な事項が記載されています。

注意: ここに示すように、本文とは区別して記載する必要のある、特別な情報が含まれています。



重要: 概念または作業を完了または理解するために遵守する必要のある、前提条件または情報が記載されています。

ヒント: 作業に役立つヒントが記載されています。

静電気放電保護



注意: 静電気放電により電子部品が損傷する可能性があります。

検査システム内の電子部品の取り外し、取り付け、または取り扱いの際には、下記の注意事項を遵守してください:

- 帯電防止リストバンドを手首にはめ、それを検査システムに接地する。
- 回路基板の交換時には、接地されている帯電防止フロアマットの上に立って作業を行い、この帯電防止マットの上に回路基板を置く。
- 回路基板の保管および輸送時には、基板を静電気保護袋に入れ、保護袋を完全に密閉する。

セクション 2 安全情報

このセクションには、オペレーターが、システムを操作または保守する前に読んでおく必要のある安全情報が含まれています。



警告: この製品には、オペレーターが修理できる部品は含まれていません。必要な資格を取得している担当者にサービスを依頼してください。感電を防止するために、電源が接続されている状態でキャビネットのドアを決して開かないでください。



警告: いかなる場合も、密閉されている機械部品または装置を決して分解しないでください。これにより保護機能が失われ、潜在的に危険な状態が発生する可能性があります。



注意: LEDからの危険な光放射の可能性。LEDを直視しないでください。

健康上の警告: 光過敏性てんかん



警告: 光過敏性てんかん/発作

人によっては、ごく稀に、特定のパターンで発光または点滅する光に曝されると、てんかんの症状または発作を発現する場合があります。ビジョン検査システムの点滅する光への曝露も、このような人のてんかん症状または発作を引き起こす可能性があります。てんかんの症状または発作の病歴がない人でも、これらの点滅する光によって、てんかんの症状または発作を引き起こす可能性があります。自身または家族の誰かがてんかんの症状を持っている場合、または何らかの発作を起こしたことがある場合は、本機を操作する前に医師に相談してください。

本機の操作中に次の症状のいずれかが発生した場合は、使用を直ちに中止し、医師に相談してください。

- めまい
- 視力の低下
- 目または筋肉の痙攣
- 意識の喪失
- 見当識障害
- 発作
- 不随意運動または痙攣

てんかんの症状や発作の引き金は人によって異なります。一般的な原因を下記に示します:

- ビジョン検査システムや火災警報器に使用されている点滅する光
- 急速に点滅する光や異なる色の発光が交互に繰り返されるパターンが含まれるビデオゲームまたはテレビ放送
- 黒の背景に白い棒などの、明るく対照的な模様
- 暗闇での白色光の点滅
- テレビ画面やコンピューターモニターのすぐ近くに近づくなどしたときの、視界全体を占有する刺激的な画像
- 赤や青などの特定の色

警告なしに、てんかん症状または発作を引き起こす可能性のある何かに遭遇した場合:

セクション 2

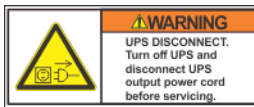
- 目を閉じないでください(ちらつき効果が発生する可能性があります)
- 点滅している光や引き金となる物を直接見ないでください
- すぐに片方の目を手のひらで覆ってください
- 点滅している光や引き金となる物から目を逸らしてください

このシステムに使用されているシンボルマーク

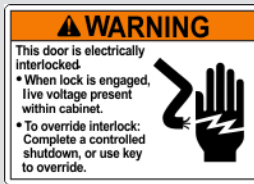
Presscoシステムまたはその周辺に使用されているシンボルマークを下記に示します。潜在的な危険性に注意が必要です。

シンボル	意味
	注意: 危険。使用する前に付属資料を参照すること。
	警告: 感電の危険性がある
	警告: アークフラッシュおよびショックの危険性がある
	警告: 感電の危険性がある
	警告: 高温の表面による火傷の危険性がある
	警告: 手先を負傷する危険性がある
	オン(電源投入)
	オフ(電源遮断)
	交流
	保護接地導体端子
	警告: アークフラッシュおよびショックの危険性がある
	警告: 電源をオフにしてもUPSに電圧が残留

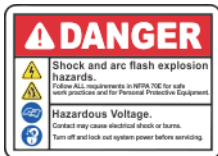
セクション 2



警告：UPSの接続を解除



警告：電氣的インターロック



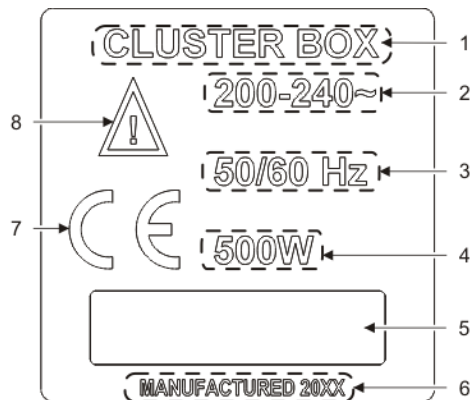
危険：アークフラッシュおよびショックの危険性がある

アーク溶接に関する警告

警告：ビジョン機器が設置されているラインでアーク溶接を実行する前にビジョン機器の電源が完全にオフになっていないと、機器(弊社製のものに限らず、特にエンコーダー)が損傷する可能性があります。

ラベルの説明 — Intellispec

Intellispecシステムの各コンポーネントに貼付されているラベルの例を下図に示します。



- 1) コンポーネント名。注意：Chromapulseモデルの場合は、モジュールのフロントパネルに表示されています。
- 2) AC電源電圧範囲(単位はボルト(V))
- 3) 周波数範囲(単位はヘルツ(Hz))
- 4) 最大定格消費電力(ワット(W)単位、すべてのアクセサリまたはプラグインモジュールを接続した状態)
- 5) シリアルナンバー
- 6) 製造年
- 7) 認証シンボル
- 8) 危険シンボル。使用する前に付属資料を参照。

警告デバイス

Presscoシステムには、システム障害や製造ラインの不良件数の過多または警告を報告するための警告デバイスが組み込まれています。警告デバイスには、オプションのシグナルタワー、画面に表示されるアラームおよびインジケーター、および警報装置が含まれます(システムによって異なります)。

アラーム

ユーザーが定義可能なアラームを使用して、所定の条件が満たされたときの、オプションのシグナルタワーの点灯および警報の持続時間を設定することができます。

所定の条件が満たされたときは、シグナルタワーのほかに、画面にも「アラーム」ボタンが表示されます。この「アラーム」ボタンを押して、アラームを解除したり、アラーム条件についての詳細な情報を表示することができます。

シグナルタワー

オプションのシグナルタワーは、お客様が指定した場所のポールに取り付けられます。



シグナルタワーのそれぞれの色によって、それぞれのアラームまたはシステムの状態が表示されます。一つの色で複数のアラーム状態を表している場合があります。

残留リスク

Presscoシステムは、負傷する危険を最小限に抑えるように設計されています。ただし、製造ラインから不良品を除去するために排除デバイスが使用されていることに注意が必要です。また、電子機器のキャビネットを開くと、感電の危険があります。

システムを操作するとき、またはシステムの近くで作業するときは、下記の安全上の注意事項(警告)を遵守してください:



警告: 飛び出した物によって負傷する可能性があります。稼働中は排除デバイスに近寄らないでください。



警告: 敏感な電子装置や高電圧に曝される可能性があります。稼働中はプロセッサキャビネット/電気制御ボックスのドアを決して開かないでください。


使用目的

プロセスのタイプ Presscoシステムは、容器やその他の特別な製造プロセスを監視し、不良品を特定するために使用します。

使用目的 Presscoシステムは、天候の影響を受けない、屋内での製造環境で使用するように設計および製造されています。

必要な空間 Presscoシステムとそれに付随するセンサーは、安全で簡単な設置、サイズの変更、ユーザーの操作、およびメンテナンス作業が可能な場所に設置する必要があります。

禁止事項

 **警告:** 本機を指定どおりに使用しないと、本機によって提供される安全保護機能が損なわれる可能性があります。本機は、通常の状態(すべての保護手段が損なわれていない状態)でのみ使用する必要があります。

 **重要:** Presscoシステムを、“使用目的”前のページのセクションに明示的に記載されている目的を逸脱して使用しないでください。

下記の使用は禁止されています:

 爆発しやすい環境での使用

 可燃物が多い環境での使用

 湿気が多い環境、湿った環境、または水に濡れる環境での使用(特に明記されている場合を除く)

身体保護具

 **重要:** 下記に示す推奨事項に加えて、常に工場の安全要件を遵守してください。

少なくとも、下記の身体保護具(PPE)の使用を推奨します:



保護衣服



保護手袋



保護用耳栓またヘッドホン



保護眼鏡



安全靴

従業員の身体の保護

本機の操作および保守担当者の安全を確保するため、下記のルールの遵守を推奨します。

本機の操作時:



本機を操作するのに必要なオペレーターは一人だけです。オペレーターを除く他のすべての人は安全な距離を保つ必要があります。



オペレーターは、本機に接続されているすべての機械装置に精通し、緊急停止装置の使用方法を熟知している必要があります。

注意: 非常停止装置には本機に直接接続されていないものもありますが、その使用方法を熟知している必要があります。



本Presscoシステムをオンラインにする前に、オペレーターは、本機に接続されているすべての機械装置に使用されている、すべての安全装置が所定の位置に存在し、正しく機能することを確認する必要があります。

安全ガードを取り外した状態で本機を使用しないでください。



オペレーターは自身の作業に最大限の集中力を維持し、シフト中は常に注意を払う必要があります。そうできない場合は、すぐにシフト監督者に知らせてください。

メンテナンスや修理作業を行う場合の注意事項:



主電源スイッチを切断します。スイッチの位置については、「電源投入」および「電源切断」のセクションを参照してください。



本機の操作を開始する前に、近くに人がいないことを確認してください。



保守または修理の作業で、安全システムまたは保護システムの切断または取り外しが必要な場合、人身事故または本機の損傷を確実に防止する責任のある監督者の管理下で、その作業を行う必要があります。本機のすべての操作を、制限された速度と制限された動作で実行する必要があります。



電気コンポーネントの保守または修理の作業は、必要な資格を取得している担当者のみが行う必要があります。電源を接続してテストを行う場合は、所定の注意事項を遵守する必要があります。










高所で作業する場合は、ハーネスを着用して構造物に固定し、移動する際には常に細心の注意を払う必要があります。




本機の稼働中に、機械部品の潤滑やメンテナンスの作業を決して行わないでください。

安全のための禁止事項:

-  作業中に安全ガードを開く
-  システムの稼働中にメンテナンスおよび修理作業を行う
-  本体に寄りかかる
-  本体コンポーネントの上に座る
-  本書に記載されている使用目的を逸脱して使用する
-  本機構成部品を改造する
-  承認されていない従業員に本機の操作または保守作業を行わせる

重量物の持ち上げ

 **注意:** 重量のあるコンポーネントが存在します。負傷または機器の損傷を防止するために適切な対策を講じてください。一人で持ち上げることができない場合は、誰かに助力を求めるか、機械式の巻き揚げ装置を使用してください。

コンポーネントには持ち上げるためのハンドルは用意されていません。下記を遵守してください:

- コンポーネントの底面を持ち上げるワイヤー、ブラケット、および尖った物などは決して使用しないでください。
- センサーのレンズに指が触れないように注意する。
- 慎重に作業する。

 **警告:** Presscoの本体キャビネットを一人で持ち上げることはできません。機械式リフト装置を使用し、他の人にも支援を要請してください。

 重量物を移動するときは身体をひねらないでください。両足を少しずつ動かして、身体全体を必要な方向に向けるようにしてください。

安全に持ち上げる方法:

1. 重量物に正対して立ち、両足を肩幅と同じくらいに開きます。
2. 腹筋に力を入れます。
3. 背筋をまっすぐに伸ばし、膝を曲げて腰を落とします。
4. 両手で、重量物の底面をしっかりとつかみます。
5. 重量物を引き寄せて、脚の筋肉を使って立ち上がり、重量物を持ち上げます。脚の筋肉だけを使用して重量物を持ち上げます。背筋をまっすぐ伸ばしたまま持ち上げる必要があります。
6. 重量物を目的の場所に下すときも、脚の筋肉だけを使用して下します。

認定ユーザー

所定のトレーニングを済ませた機械オペレーター、メカニックおよび電気保守要員、および工場管理者は、本Presscoシステムの認定ユーザーと見なされます。いずれの場合も、本書に記載の情報をよくお読みください。工場管理者は、本書に記載の安全に関する推奨事項が完全に遵守されるようにする必要があります。

 **警告:** 危険ですから、決して製造プロセスに不慣れな従業員に本Presscoシステムを使用させないでください。

本書に記載の内容に関して不明瞭な点がある場合は、Presscoテクニカルサポートにお問い合わせください。

 **重要:** いかなる従業員にも、本人の能力および責任の範囲を超えて、決して本システムを使用させないでください。

適切な使用方法: 本システムは、いかなる時でも、一人の担当者のみが使用するようにしてください。作業担当者の正しい立ち位置は、ユーザーインターフェースモニターの前面、つまりコントロールキャビネットの前面です。

修理: 本システムの修理を行うことができるのは、Pressco Technology Inc.のサービス担当者、または Pressco Technology Inc.が認定したその他のサービス担当者のみです。

補修部品の使用

部品の交換には下記の制約が適用されます:



警告: Presscoの仕様に合わせて設計されていない補修部品を使用すると、Presscoシステムの安全性と有効性が損なわれる可能性があります。

- Presscoの設計仕様を逸脱している部品の使用は禁止されています。関連する部品に安全装置が含まれている、または接続されている場合に、特にこの禁止事項が適用されます。
- 製造を再開する前に、すべての安全装置が正常に機能することを確認する必要があります。

Pressco Technology Inc.は、上記の禁止事項が遵守されない場合は一切の責任を負いません。

補修部品リストが必要な場合は、Presscoのカスタマーサポート部門にご請求ください。

お客様が工場内でシステムの使用および保守作業をしている際に発生した問題については、Presscoの技術者が解決のお手伝いをいたします。

セクション 3 システムの仕様


この機器は、指令EN61010-1(2010)の測定、制御、および実験室で使用するための電気機器の安全要件に基づいて設計および試験されており、安全な状態で提供されています。本取扱説明書には、安全な操作を保証し、機器を安全な状態に維持するためにユーザーが遵守しなければならない情報と警告が含まれています。

環境条件

本Intellispecシステムは、下記の環境条件下で安全に使用できるように設計されています：

注意：環境条件が下記の基準を逸脱している場合は、Pressco Technology Inc.にお問い合わせください。

条件	仕様
屋内/屋外使用	屋内使用のみ
高度	最大2000メートル
常用温度	5°C～50°C
保管温度	0°C～70°C
湿度	温度31°Cにて最大相対湿度80%、50°Cでの相対湿度50%まで直線的に低下
商用電源	電圧変動が公称電圧の最大±10%以内であること
過電圧保護等級	使用する商用電源に存在する過渡電圧 注意：過渡過電圧の通常のレベルは、IEC 60364-4-443のインパルス耐性(過電圧)カテゴリIIです。
定格汚染度	本機器は、EN61010-1およびEN60664に準拠した設置カテゴリIIおよび汚染度1で使用するように設計されています。

 警告：本製品はクラスA製品です。本製品は、家庭環境では電波干渉を引き起こす可能性があります。その場合、使用者は適切な措置を講じる必要があります。

出力音圧レベル

オプションのシグナルタワーの警報器の音量出力は、前方1メートルの距離にて最大105dBに達します。工場の安全規則に指定されている適切な聴覚保護具を使用してください。

仕様 — Intellispec Series 6

下記のセクションに、Intellispec Series 6システムの各コンポーネントの電氣的仕様および測定値が含まれています。御社のシステムには、御社のアプリケーションに必要なコンポーネントのみが含まれています。

電気仕様 — Series 6

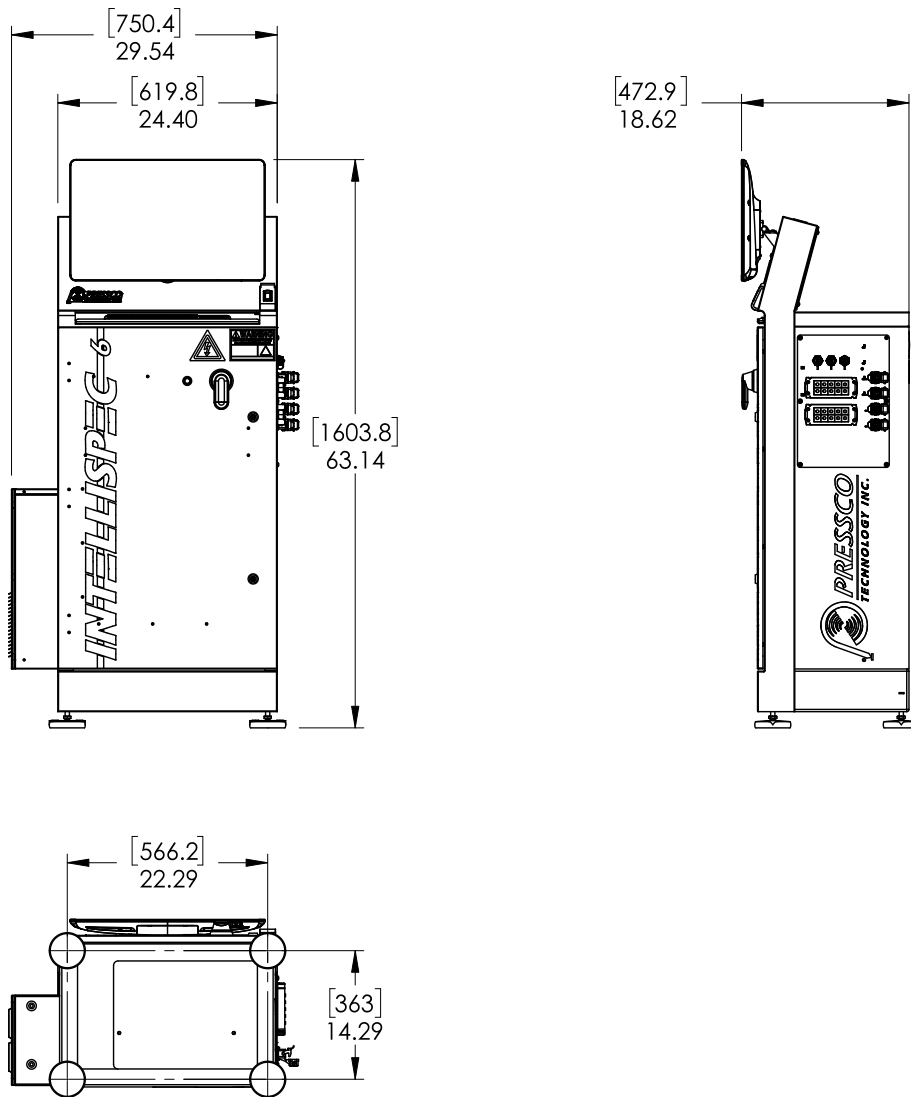
230 V: コントロールインターフェースSeries 6モデル81134

- 電圧: 230 V AC
- 消費電流:
 - 検査モジュール: 4 A
 - 冷却ユニット: 3.5 A
- 周波数: 50/60 Hz
- 相数: 1

120 V: コントロールインターフェースSeries 6モデル81135

- 電圧: 115 V AC
- 消費電流:
 - 検査モジュール: 6 A
 - 冷却ユニット: 7 A
- 周波数: 50/60 Hz
- 相数: 1

寸法 — Series 6ビジョンプロセッサキャビネット



単位はインチです。括弧内の数値はミリメートル単位です。

セクション 4 EU適合宣言

適合宣言 – Intellispec S6 System

宣言	<p>記載されている製品は、以下の欧州連合調和法に適合しています：</p> <p>電磁両立性に関する加盟国の法律の調和に関する2014年2月26日の欧州議会および理事会の指令2014/30/EU、および特定の電圧制限内で使用するよう設計された電気機器の市場での利用可能性に関する2014年2月26日の欧州議会および加盟国の法律の調和に関する指令2014/35/EU。</p> <p>技術文書は、上記指令の付録IIに記載されている必須要件を満たしていることを明示しています。</p>
製造者	<p>Pressco Technology Inc.29200 Aurora Road Cleveland, Ohio 44139-1847 USA</p> <p>本適合宣言は、製造者の単独の責任の下に行われています。</p>
製品名	<p>Intellispec Series 6</p> <p>EN 61326-1:2013: 測定、制御、および実験室で使用するための電気機器 – EMC要件 – パート1: 一般要件</p> <p>EN 55011:2016+A11:2020: 放射/伝導排出</p> <p>EN 61000-4-2:2009: ESDイミュニティ</p> <p>EN 61000-4-3:2006 + A1:2008 + A2:2010: 放射RFイミュニティ</p> <p>EN 61000-4-4:2004 + A1:2010: EFTバーストイミュニティ</p> <p>EN 61000-4-5:2006: サージイミュニティ</p> <p>EN 61000-4-6:2009: 伝導RFイミュニティ</p> <p>EN 61000-4-11:2004: 電圧降下および中断</p> <p>EN 61010-1:2010: 測定、制御、および実験室で使用するための電気機器の安全要件 – パート1: 一般要件</p> <p>2011/65/EU: 電子機器における有害物質の制限</p>
住所	<p>Pressco Technology Inc.29200 Aurora Road Cleveland, Ohio 44139-1847 USA</p>

署名者: Fredrick F. Awig、エンジニアリング& オペレーション担当副社長 (Pressco Technology Inc.に代わって署名)

Signed for and on behalf of Pressco Technology Inc., 29200 Aurora Road, Cleveland, OH USA 44139:



March 29, 2021

Fredrick F. Awig,
VP, Engineering & Operations

Date

日付: 2021年3月29日

適合宣言 – 4 Camera CPX Inspection Module

宣言	<p>以下に詳述する機械は、電磁両立性(改訂)に関連する加盟国の法律の調和に関する欧州議会および2014年2月26日の理事会の指令2014/30/EUに適合しています。</p> <p>本製品は、指令第14条の調和規格による試験結果と、技術ファイルの使用に基づいて、指令2014/30/EUへの適合と付属文書IIに規定の必須要件を満足していることが実証されています。</p>
製造者	<p>Pressco Technology Inc.29200 Aurora Road Cleveland, Ohio 44139-1847 USA</p> <p>本適合宣言は、製造者の単独の責任の下に行われています。</p>
製品名	4 Camera CPX Inspection Module
技術ファイル	EMC5383
公認機関	<p>次のEU公認機関が、指令2014/30/EUの基本的な保護要件に関して、リストされた標準に近い、一般的な構造、適合手順、および現場試験によるEMC試験の理論的根拠について本技術ファイルの評価を行いました:</p> <p>Hursley EMC Services, Ltd.、公認機関2635 Trafalgar Close, Chandler's Ford Eastleigh SO53 4BW, United Kingdom 評価証明番号: 180898</p>
適用規格	<p>EN 61000-6-2:2005: 電磁適合性(EMC) – パート6-2: 一般基準 – 産業環境に関するイミュニティ</p> <p>EN 55011:2009 +A1:2010: 産業、科学、医療機器 – 無線周波数妨害特性 – 測定の限界と方法</p> <p>2011/65/EU: 電子機器における有害物質の制限</p>
住所	Pressco Technology Inc.29200 Aurora Road Cleveland, Ohio 44139-1847 USA

Signed for and on behalf of Pressco Technology Inc., 29200 Aurora Road, Cleveland, OH USA 44139:



1/27/21

Fredrick F. Awig,
VP, Engineering & Operations

Date

署名者: Fredrick F. Awig、エンジニアリング& オペレーション担当副社長 (Pressco Technology Inc.に代わって署名)

日付: 2021年1月27日

セクション 5 設置

このセクションには、設置要件と、本システムの設置前に完了しておく必要のある準備についての情報が含まれています。

輸送および荷扱い

Pressco Technology Inc.は、未組み立てコンポーネントを、荷扱いおよび天候から内容物を保護するように設計されたパッケージに収容して出荷します。

本機注文契約で別段の定めがない限り、注文主が機械部品の積み下ろしおよび荷扱いに必要な手段と設備を提供する必要があります。Pressco Technology Inc.は、Presscoの技術者1名が機械の積み下ろしおよび荷扱いを監督することが必要であると考えています。また、これによって、組み立てを容易にするための、パッケージの開梱およびコンポーネントの配置についての論理的な手順について、役立つ助言を行うことができます。



警告: 機械の積み下ろしおよび荷扱いの作業には、相応の資格が必要です。Pressco Technology Inc.は、積み下ろしおよび荷扱いに関する相応の資格を取得していない人員の関与や、本書に記載されている注意事項を遵守しなかったことに起因する、コンポーネントの損傷や人的損害について一切の責任を負いません。



重要: 設置現場の監督者は、さまざまな設置段階が、現在の法規制を遵守して、すべて安全に実行されることを保証する責任があります。

本機の納品時に、輸送中に損傷が発生していないことを確認します。損傷がある場合は、Pressco Technology Inc.にお知らせください。

本機の荷扱いは、常に、地上に近い高さで行う必要があります。



持ち上げる(本体およびパッケージの)重量に適合した、十分な能力を備えたフォークリフトおよびフォークの使用を推奨します。

梱包の寸法および重量を下記に示します。値は最大の寸法および重量です。構成によっては、梱包の寸法および重量が、この値よりも小さくなる場合があります。構成によっては、複数の梱包に分かれていることがあります。

サイズ(完全なIntellispecシステム)	152.4 cm x 124.46 cm x 152.4 cm(60 x 49 x 60 インチ)
重量(完全なIntellispecシステム)	453.592 kg(1000 lbs)

重量(Intellispecビジョンプロセッサ)	155 kg(340 lbs)
---------------------------	------------------

設置前の推奨事項

本機を設置する前に、Presscoの設置担当者が、お客様(または代理人)とともに、本機を設置する環境において、下記の条件を確認する必要があります：

- 契約によって求められている本機の設置のための作業が完了していること
- 本機を設置するための工場レイアウト図が、Pressco Technology Inc.が合意した最終図面であること

- 設置に必要なスペースと高さが実際に利用可能なこと
- 本機を設置する領域に、設置レイアウトに含まれているコンポーネントを除いて、何も存在していないこと。設置を妨げたり、困難にする可能性のある機械装置またはコンポーネントが、後の段階で追加されていないことを確認します。そうでない場合は、すぐにPresscoのプロジェクトエンジニアリング担当者に連絡し、問題の適切な解決策を手配してください。

本機の設置を行う前の推奨事項を下記に示します：

- 損傷の可能性を最小限に抑えるために、本機を梱包したままの状態を設置する場所に運ぶ。
- 梱包材を慎重に取り除き、コンポーネントに損傷がないことを確認する。
- 輸送中に取り付けが緩んでいないか、各コンポーネントの取り付け具合を確認する。
- 圧縮空気の供給配管を準備する。最終的な接続を行う前に、パイプが清潔で汚れが付着していないことを確認します。

お客様の側で用意していただく必要があるもの

Pressco Intellispecシステムを使用するには下記のものが必要です。本機への接続の前に、それぞれが技術仕様に適合していることを確認してください。組み込まれているモジュールの数によっては、複数の接続が必要になることがあります。所定の配線図を参照してください。

項目	要件
排除デバイス用の圧縮空気の供給	配管は、使用時に圧力が低下しない断面積のあるものが必要。圧縮空気は乾燥していて油分が含まれていないこと。
電源の供給	<p>下記に適合している電源コンセントが必要：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザーインターフェースの電氣的仕様(システムに適用される仕様を使用) • 統合トンネルの電氣的仕様(装備している場合) • クラスタボックスの電氣的仕様(装備している場合)
インターネット接続(任意)	インターネットを通じてPresscoのリモートサポートを利用する場合は、シールド付きイーサネットケーブルが必要。

保護接地

本機は電氣的に接地されている必要があります。電氣的に接地することにより、誤動作や故障が発生した場合、電流に対して抵抗が最小の経路が構成され、感電のリスクを減らすことができます。

⚠ 危険：本機の接地用導体の接続が不適切な場合、感電する危険性があります。本機が適切に接地されているかどうか疑問の場合は、必要な資格を取得している電気技術者またはサービス技術者に確認を依頼してください。

電源ケーブル付きの機器

この製品には、接地導体および接地端子付きの電源ケーブルが使用されています。この電源プラグを、当該地域の法規制に基づいて適切に設置および接地されている適切なコンセントに差し込む必要があります。

この電源プラグを変更しないでください。コンセントに合わない場合は、必要な資格を取得している電気技術者に適切なコンセントの取り付けを依頼してください。

ケーブルダイレクト

この製品は、接地された金属製の永久配線システムに接続するか、本体接地導体を回路導体とともに配線し、本体の接地端子に接続する必要があります。

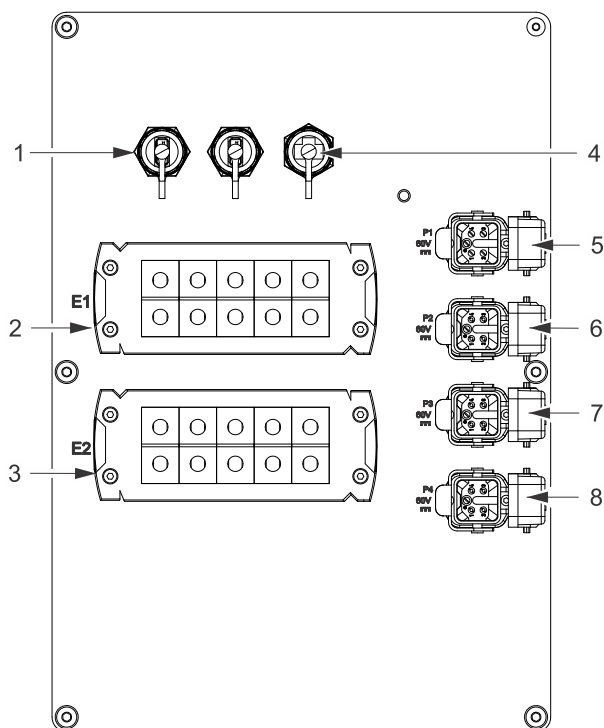
電氣的接続

使用する商用電源の電圧が、本機に必要な電圧と一致していることを確認してください。本システムの電気仕様と配線図を参照してください。

警告: 電源スイッチは電源遮断装置です。この電源スイッチの操作に支障のある位置に本機を設置しないでください。電源スイッチを簡単に操作できない場合は(ラック内や手の届かないところに取り付けるなど)、商用電源切断用の装置を追加する必要があります(保護接地も必要)。

外部との接続

接続用のコネクタ類が、Intellispec Series 6のキャビネットの側面に用意されています。



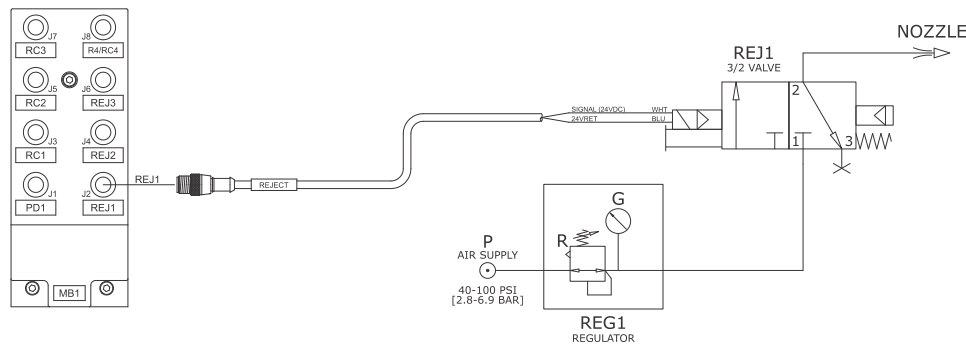
- 1) USB1およびUSB2—データ転送用
- 2) E1ブロックコネクタ—検査モジュール接続用
- 3) E2ブロックコネクタ—検査モジュール接続用
- 4) Ethernetコネクタ—
- 5～8) P1～P4コネクタ—検査モジュールへの60 V DC出力

排除バルブ圧縮空気配管接続図

この図は、8ポートI/Oボックスへの排除デバイスの接続を示しています。この図はIntellispecシステム用のものです。

セクション 5

8-PORT I/O BOX
57006



設置

Pressco Technology Inc.は、Presscoの専任技術者によって本機の設置および設定を行うことを推奨します。これは本機の適切な運用に関して決定的に重要です。



警告: Pressco Technology Inc.は、弊社が承認していない人員によって、または、本書に記載されている注意事項を遵守せずに、本機の設置および調整が行われた場合、本機の組み立てに起因または関連して発生する可能性がある故障または物的および人的損害に関して、一切の責任を負いません。

製造、清掃、およびサービスの各作業を実行するために、本機の周囲および壁面との間に、必要な最小限のスペースを確保することが重要です。

換気

Pressco Intellispecの各コンポーネントを適切な換気が行われている位置に配置し、エアフィルターを通過する適切な空気の流れを確保する必要があります。

コンポーネント	空間
ユーザーインターフェース	周囲に1メートル(39インチ)の空間が必要
クラスターボックス(使用していないシステムもある)	ファンと通気口の前に100 mmの空間が必要

ユーザーインターフェースの安定性

脚の高さを調節してユーザーインターフェースの水平出しを行い、安定性を確保します。正しく水平出しを行うことにより、正しい操作が保証されます。また、"従業員の身体のプロtection" ページ13セクションに記載されている遵守事項も参照してください。

試運転

本機の操作を行う前に、下記の点検が完了していることを確認します:

完了	はい	いいえ
ユニットの位置決めおよび水平出し		
圧縮空気接続部への圧縮空気配管の接続		
ビジョンプロセッサキャビネットへの電源の接続		

完了	はい	いいえ
クラスターボックス(装備している場合) への電源の接続		
統合検査モジュール(装備している場合) への電源の接続		
ユーザーインターフェースキャビネットと、センサーモジュールおよびクラスターボックス(装備している場合) との正しい配線接続(配線図参照)		

セクション 6 Intellispec Series 6システムの操作

オンライン–オフライン



この信号機は、各レーンのオンライン/オフラインインジケータです。

- 赤色 = オフライン
- 緑色 = オンライン
- 黄色 = スマートオフライン(キュー内の部品の処理中、処理後にシステムはオフラインに移行)

オンラインからオフラインまたはその逆に切り換えるには信号機をクリックします。

各レーンは、個別にオンラインまたはオフラインにすることができますから、複数のレーンが構成されている場合、レーンごとにオンラインまたはオフラインにすることができます。

注意: レーンをオンラインまたはオフラインにするときに、相応のユーザー権限が必要なことがあります。

部品の変更

検査する部品を変更するのに必要なことは、部品プログラムを変更することだけです(新たに検査する部品タイプ用の部品プログラムがすでに設定されている場合)。

これにより、適切な検査、照明、およびガイドレールの設定が読み込まれます(これらが事前に設定されている場合)。

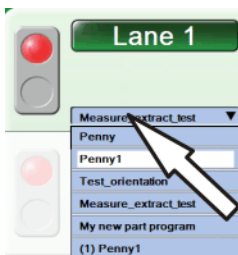
注意: ハイレベルのユーザーでなければ使用できないメニュー項目も存在します。

必要な物:

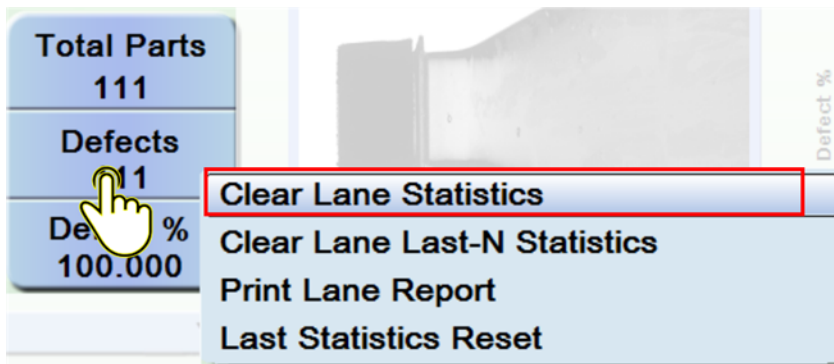
部品プログラムの変更に必要なユーザー権限

部品を変更する手順:

1. システムにログインします。
2. 部品ドロップダウンメニューをクリックします。



3. 新たに検査する部品名をクリックします。その部品の部品プログラムがIntellispecに読み込まれます。
4. 新しい部品の製造工程での統計情報の計数を開始するために、統計パネルをクリックして「レーン統計を消去する」を選択します。





5. レーンをオンラインにすると、新しい部品の検査が開始されます。

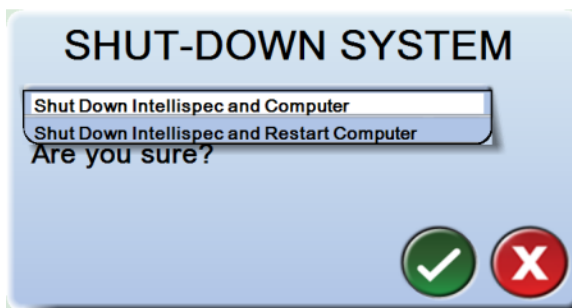
レーン固有の情報が、それぞれの部品プログラムに含まれています。部品プログラムには、カメラ情報、照明情報、キャリブレーション情報、および検査など、事前に設定されている、すべてのものが格納されています。

Intellispecソフトウェアの終了

このソフトウェアを終了するには、相応のユーザー権限が必要です。これにより、不適切なシステムのシャットダウンが防止されます。このユーザー権限が必要な場合は、システム管理者に申請してください。

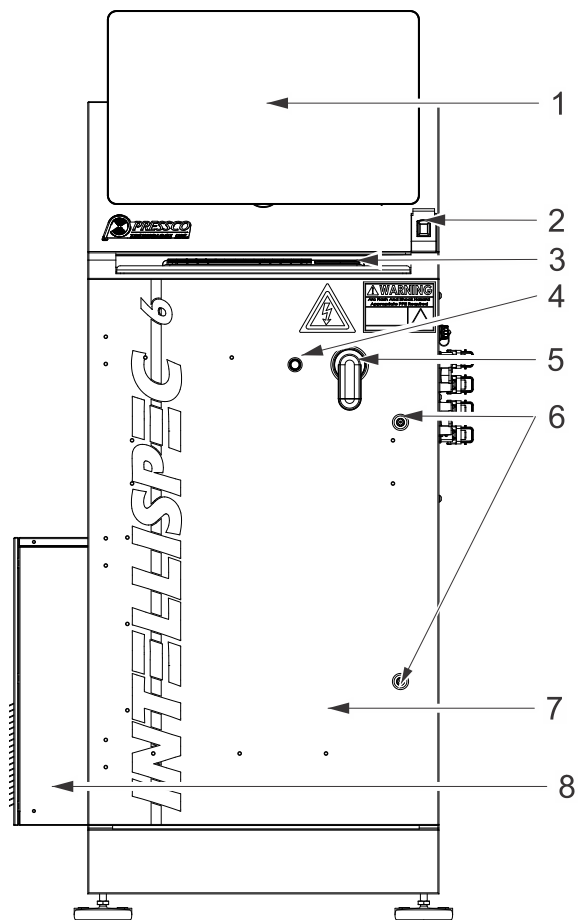
Intellispecソフトウェアの終了手順:

1. システムにログインします。
2.   「ホーム」を選択し、「ツール」を選択して、「システムを終了」を選択します。
3. いずれかの終了オプションを選択します。



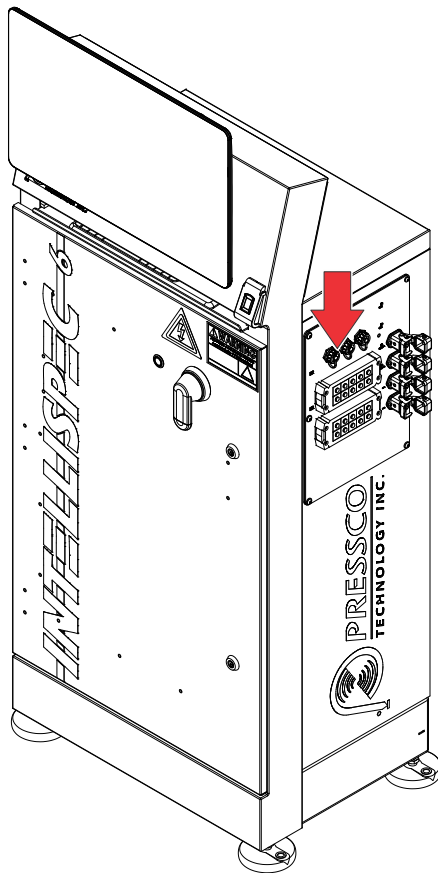
4.  「OK」ボタンを押します。Intellispecソフトウェアおよびコンピューターのシャットダウンが行われます (オプションの選択により再起動も可能)。

セクション 7 Intellispecコントロールキャビネット およびユーザーインターフェースS6



- 1) タッチパネルモニター
- 2) 生体認証ログインデバイス
- 3) キーボードトレイ
- 4) 電源インジケータ-LED
- 5) 電源スイッチ
- 6) ロック ("電源オフでの内部コンポーネントへのアクセス" ページ31)
- 7) ビジョンプロセッサ(コントロールキャビネット内)
- 8) 冷却ユニット


USBポート S6



データのバックアップまたは転送に使用可能なUSBポートが用意されています。

下記の場合に、このUSBポートを使用します：

- 「作成」、「コピー」、「インポート」による、他のシステムの部品プログラムのからの部品プログラムのインポートおよびエクスポート
- ユーザーアカウントのエクスポート
- ユーザーアカウントのインポート
- サポートパッケージの作成
- 特に、サポートパッケージとともに送信するための画像の保存

 このUSBポートはスマートフォンを充電するためのものではありません。これらのポートは、データのインポートまたはエクスポートにのみ使用してください。

生体認証ログインデバイス

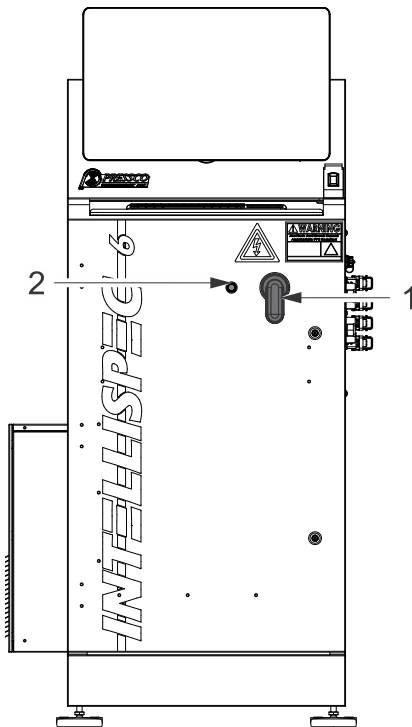
生体認証ログインデバイスを使用して、Presscoシステムへのログインを行うことができます。このデバイスはオプションで、システムと同時に購入する必要があります。



このデバイスを使用してログインするには、デバイスに指を押し当てます。使用するための条件：

- 最初に管理者によって設定された指と同じ指を使用します。
- 自分のアカウントがどのように設定されているか(つまり、どの指を使用するか)が不明の場合は、管理者に問い合わせてください。
- ログインに3回失敗した場合は、指紋の認識ができないため、画面に表示されるキーボード(OSK)を使用して、ログインする必要があります。

コントロールキャビネットでの電源のオン/オフ



電源オン: キャビネット前面に配置されているスイッチ(1)をオンの位置に回します。電源インジケータ(2)が点灯します。ソフトウェアが自動的に起動します。(検査を開始するに、ログインして、システムをオンラインにする必要があります)。

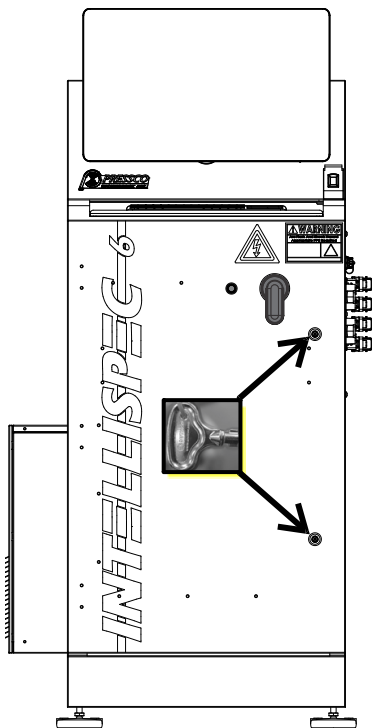
注意: 主電源スイッチをオンにしてからコンピューターの起動が完了するまでに約1分かかります。

電源オフ: キャビネット前面に配置されているスイッチをオンの位置に回します。システムが、コンピューターを含め、シャットダウンします。UPSもシャットダウンします。

警告: このスイッチを使用して電源をシャットダウンすると、ユニット内のUPSが放電してしまうまで電圧が残留します。

重要: システムを再起動する必要がある場合は、ソフトウェアとコンポーネントが完全にシャットダウンするまで、電源をオフにしてから約1分間待った後で、再び電源をオンにします。このようにすることで、電子部品を正しくリセットすることができます。

電源オフでの内部コンポーネントへのアクセス

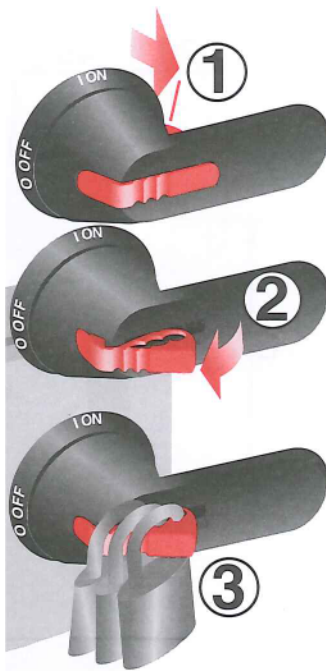


コントロールキャビネット内のコンポーネントにアクセスするには、Presscoから供給されたキーが必要です。

警告: 本システムの電源をオフにしても、UPSには電圧が残留しています。本システムの内部にアクセスできるのは選任の担当者のみです。このキーを使用できるのは専任の担当者のみ限定しておくことを推奨します。

ロックアウト手順

キャビネットドアが開いているときに誤って電源が投入されるのを防止する方法:



1. ハンドルがOFFの位置になっていることを確認します。
2. ハンドルの赤色の部分を引き起こします。
3. 最大3個の南京錠でロックすることができます。

電源オンでの内部コンポーネントへのアクセス

この接続解除スイッチには、スイッチがONの位置でもキャビネットドアを開くことのできるオーバーライド機能が備わっています。



警告: 電源がオンの状態でキャビネットの内部にアクセスできるのは専任担当者のみです。

1. 小さな先端の尖っていない道具を使用して、ハンドルの左側に配置されている小さなボタンを押します。3/32"または2.5 mmのアレン(六角)レンチを使用することをお勧めしますが、ボールペンを使用することもできます。



先端の尖った道具は決して使用しないでください。

2. キャビネットドアを開きます。



警告: キャビネット内は通電されているため、不用意に触れると感電する危険性があります。



Intellispecシステムのリブート

ビジョンプロセッサと、クラスターボックス(装備している場合) または検査モジュール間の電源または通信が喪失した場合、システムのリブートが必要になることがあります。

検査モジュールのライトの発光が停止し、システムによる写真撮影が行われていない場合などが該当します。システムをリブートすると、ビジョンプロセッサと部品トラッカーの再接続が行われます。

注意: ビジョンプロセッサ-UPSとクラスターボックスの両方への電源が2分以上中断すると、自動的にソフトウェアがシャットダウンし、次いで、ビジョンプロセッサ-PCもシャットダウンします。電源が回復すると、ソフトウェアは自動的に再起動します。必要な作業は、ログインしてシステムをオンラインに戻すだけです。

システムの再起動

システムが通信を停止した場合、またはソフトウェアが動作を停止した場合は、システム全体の再起動を行うことを推奨します。これにより、ソフトウェア、検査モジュール、およびシステムのすべての通信デバイスのリセットが行われます。

システムを再起動する手順:

1. 主電源スイッチ(DISC 1) をオフにします。ソフトウェアの正常なシャットダウンを含め、システムがシャットダウンします。
2. ソフトウェアとすべてのコンポーネントがシャットダウンするまで待ち、電子コンポーネントがリセットされるまで、さらに約40秒間待ちます。
3. 主電源スイッチ(DISC 1) をオンにします。システムが再起動し、Intellispecソフトウェアが読み込まれます。ログインしてシステムの使用を開始します。

注意: システムの再起動の完了には数分かかります。

システムを再起動しても問題が解決しない場合は、下記の手順を実行するか、Presscoにお問い合わせください(Presscoに問い合わせる)。

ソフトウェアアプリケーションの再起動

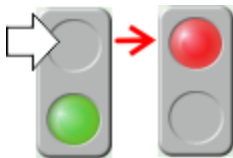
システム全体を再起動しても、何らかの理由で、解除されなかった可能性のあるソフトウェアエラーが表示される場合は、そのソフトウェアを再起動する必要があります。


このソフトウェアを終了するには、相応のユーザー権限が必要です。これにより、不適切なシステムのシャットダウンが防止されます。このユーザー権限が必要な場合は、システム管理者に申請してください。

重要: ソフトウェアを再起動するときは、「システムをシャットダウンする」のメニューから正しいオプションを選択することが重要です。「Intellispecをシャットダウンしてコンピューターを再起動する」のみを選択してください(下記参照)。

Intellispecソフトウェアを再起動する手順:

1. システムにログインします。
2. システムをオンラインにします(必要に応じて、すべてのレーンについて繰り返します)。



3.   「ホーム」、「ツール」、「Intellispecをシャットダウンしてコンピューターを再起動する」の順に選択して、ソフトウェアを終了します。
4.  「OK」ボタンをクリックします。Intellispecソフトウェアおよびコンピューターが、シャットダウンした後に再起動します。起動時にオンラインになるように、システムが設定されていることがあります。そうでない場合は、「システムの概要」画面が表示され、ログインしてシステムの操作を続行することができます。

コンピューターのリポート

ソフトウェアアプリケーションを再起動してもエラーが解除されない場合、ソフトウェアが再起動しない場合、または「システムが移行中です」というメッセージが表示される場合は、コンピューターのリポートを行ってください。

コンピューターをリポートする手順:

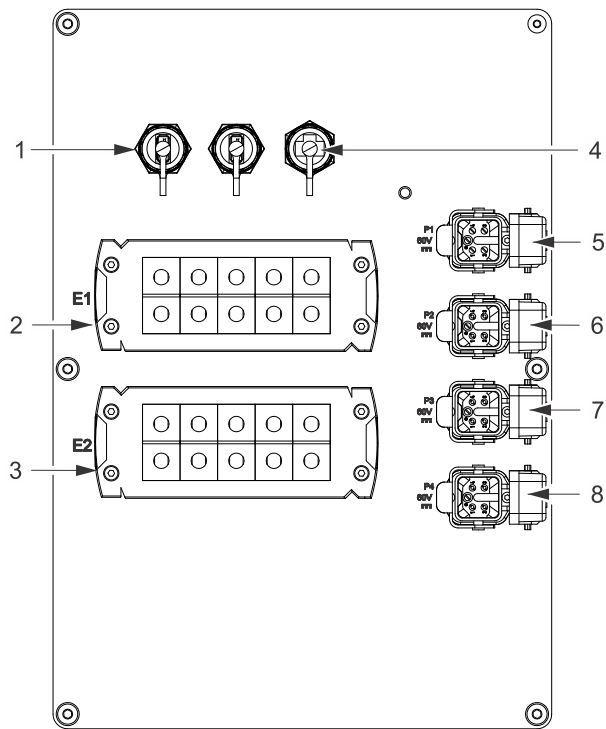
1. キーボードの「Ctrl + Alt + Delete」キーを押します。
2. ログオフオプションを使用して、Intellispecのログオフを行います。
3. Windowsログインプロンプトで、Intellispecユーザーアカウントのパスワードとして「pvpass」を入力します。ログインが完了すると、アプリケーションソフトウェアが起動します。

注意: システムのリポートの完了には数分かかります。

コンポーネントと相互接続図

外部との接続

接続用のコネクタ類が、Intellispec Series 6のキャビネットの側面に用意されています。




- 1) USB1およびUSB2—データ転送用
- 2) E1ブロックコネクタ—検査モジュール接続用
- 3) E2ブロックコネクタ—検査モジュール接続用
- 4) Ethernetコネクタ
- 5～8) P1～P4コネクタ—検査モジュールへの60 V DC出力

4色シグナルタワー

オプションのシグナルタワーは、対応するハードウェアのステータスに応じて、点灯、消灯、または点滅します。各レーンに専用のシグナルタワーを用意します。

注意: システムに組み込まれているシグナルタワーが図とは異なる場合があります。

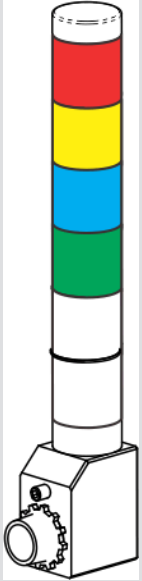
4色シグナルタワー	発光色	条件	意味
	赤	常時点灯	アラーム状態
	赤	点滅	部品トラッカーボードとホストPCとの通信が切断したか、エラーが発生し、アラームを開始する必要がある
	赤	オフ	アラームなし(正常)
	黄色	点灯	アラーム状態の警告
	黄色	オフ	アラームなし(正常)
	黄色	0.5秒間隔の点滅	システムは自動的に非同期相関FIFOをリセットする(すべてのシステムに使用されているとは限らない)
	グリーン	点灯	レーンはオンライン
	グリーン	オフ	レーンはオフライン
	青	点灯	部品トラッカーボード電源供給(正常)
青	オフ	部品トラッカーボード電源喪失	

5色シグナルタワー

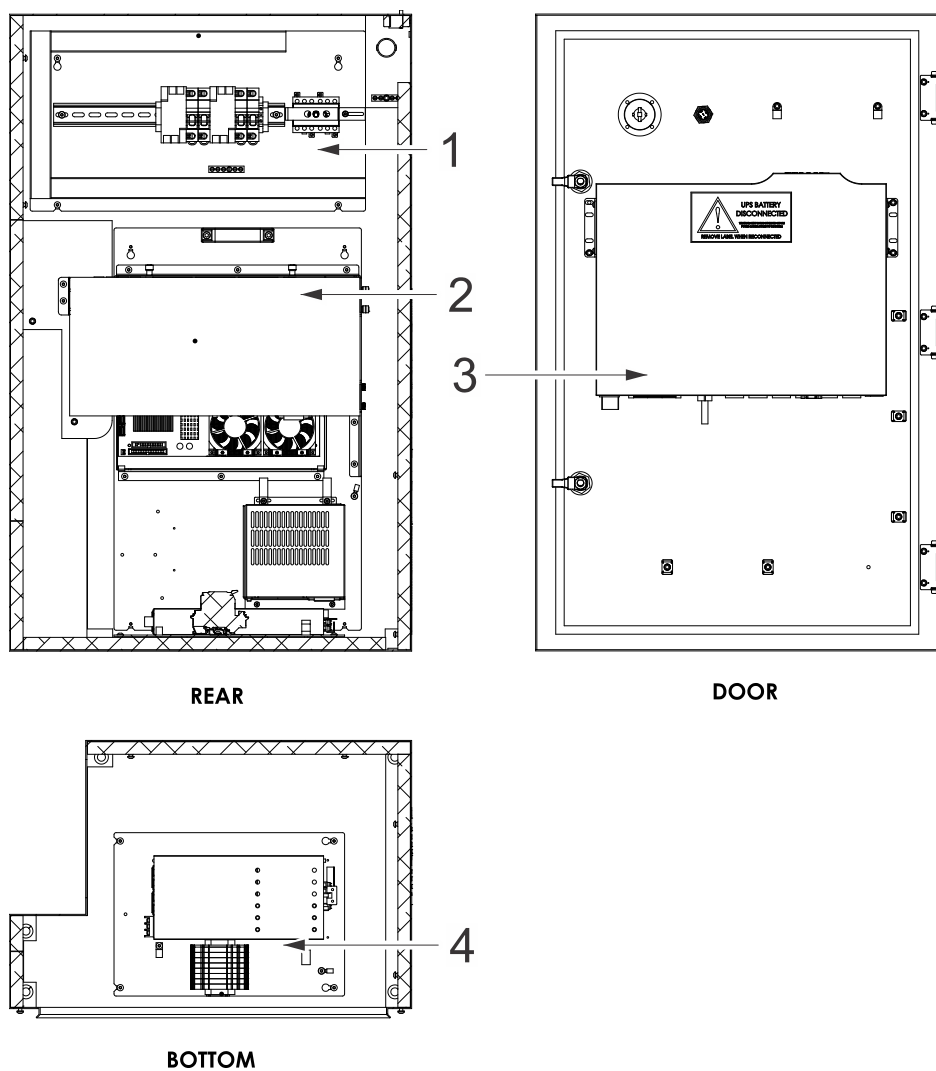
オプションのシグナルタワーは、対応するハードウェアのステータスに応じて、点灯、消灯、または点滅します。各レーンに専用のシグナルタワーを用意します。

注意: システムに組み込まれているシグナルタワーが図とは異なる場合があります。

セクション 7

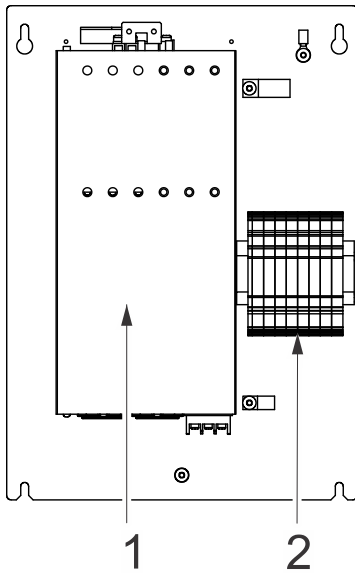
5色シグナルタワー	発光色	条件	意味
	赤	常時点灯	アラーム状態
	赤	点滅	部品トラッカーボードとホストPCとの通信が切断したか、エラーが発生し、アラームを開始する必要がある
	赤	オフ	アラームなし(正常)
	黄色	常時点灯	アラーム状態の警告
	黄色	オフ	アラームなし(正常)
	黄色	0.5秒間隔の点滅	システムは自動的に非同期相関FIFOをリセットする(すべてのシステムに使用されているとは限らない)
	青	点灯	未割り当て
	青	オフ	未割り当て
	グリーン	常時点灯	レーンはオンライン
	グリーン	オフ	レーンはオフライン
	白	常時点灯	電源オン(部品トラッカーボード電源供給)
	白	オフ	電源オフ(部品トラッカーボード電源喪失)

内部コンポーネント



- 1) 電源接続パネル(ターミナルブロックTB1を含む)
- 2) ビジョンプロセッサアセンブリ
- 3) UPS(無停電電源)
- 4) DC電源接続パネル(ターミナルブロックTB2を含む)

DC電源パネル



- 1) 電源60 V DC 1000 W、85～264 V AC 47～440 Hz
- 2) TB2 DC電源S6

ヒューズの交換

ヒューズは、コントロールキャビネットの底部パネルに配置されているターミナルブロックTB2内に取り付けられています。

警告: 引き続き火災の危険を防止するために、同じタイプと定格のヒューズを使用してください。他のヒューズや類似品の使用は禁止されています。

警告: ヒューズを交換する前に、本機の電源コードをコンセントから取り外してください。

ヒューズの定格を下表に示します。

配線図参照 – Wiring Diagram F1959W Sheet 5 of 6


Pressco部品番号	ヒューズ	値	取り付け位置
77915ヒューズキット	FU1～FU8	FUSE 5A TIME DELAY 5X20MM	底面パネル

セクション 8 ソフトウェアの概要


このセクションでは、ユーザーインターフェースを構成する各部分と、ソフトウェアの使用方法について説明します。また、項目の選択方法およびユーザーインターフェースの各ボタンの使用方法についても説明します。

ログインおよびログアウト

ログインするには、下記のいずれかの手順を実行します：

- A.  「ログイン」ボタンを押します。使用するユーザー名を選択し、そのパスワードを入力します。
- B. オプションの生体認証デバイスを使用：センサーに指を押し当てます。システムによってログインが行われます。3回試行してもシステムが指紋を識別できない場合は、「ログイン」ダイアログボックスを使用してログインする必要があります。

ログアウトの手順：


- A.  自分の名前が表示されているボタンを押し、次に「ログアウト」ボタンを押します。
- B. オプションの生体認証デバイスを使用：センサーに指を押し当てます。システムによってログアウトが行われます。

注意：別のユーザーがログインすると、それまでログインしていたユーザーのログアウトがシステムによって自動的に行われます。

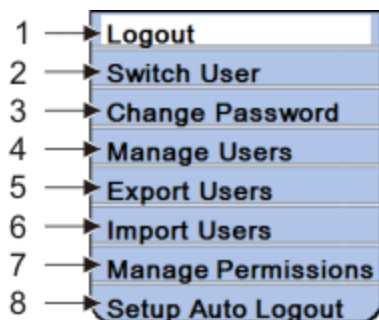
「ログイン」メニュー

システムに変更を加えることができるユーザーを許可されたユーザーのみに限定するために、ユーザーはログインする必要があります。*これらのメニュー項目にはハイレベルのユーザーでなければ使用できないものがあります。

「ログイン」メニューを表示する手順：

 「ログイン」ボタンを押し、パスワードを入力します。ボタン上の表示が、ログインしたユーザーの名前に変わります。

 もう一度「ログイン」ボタンを押します。ポップアップメニューが表示されます。



- 1 - ログアウトする
- 2 - ユーザーを切り替える
- 3 - **パスワードを変更する** - 変更できるのは自分のパスワードのみ

セクション 8

- 4 - ユーザーを管理する- ユーザーの追加、削除、または編集
- 5 - ユーザーをエクスポートする- Intellispecから別のIntellispecにユーザープロフィールをエクスポートする
- 6 - ユーザーをインポートする- Intellispecから別のIntellispecにユーザープロフィールをインポートする
- 7 - 権限を管理する- ユーザーがアクセスすることのできるシステムの特定の領域を割り当てる
- 8 - 自動ログアウトを設定する- 何もしない状態が指定した時間継続した場合、システムがログアウトする

注意: Presscoのサービス担当者のみが使用するPressco技術者アカウントが存在します。このアカウントを使用することにより、サポートされていない機能(メニュー項目の表示色が異なる)にアクセスすることができます。このアカウントにログインして、サポートされていない機能を使用する場合は、自己責任で行う必要があります。

4 ソフトウェアの画面

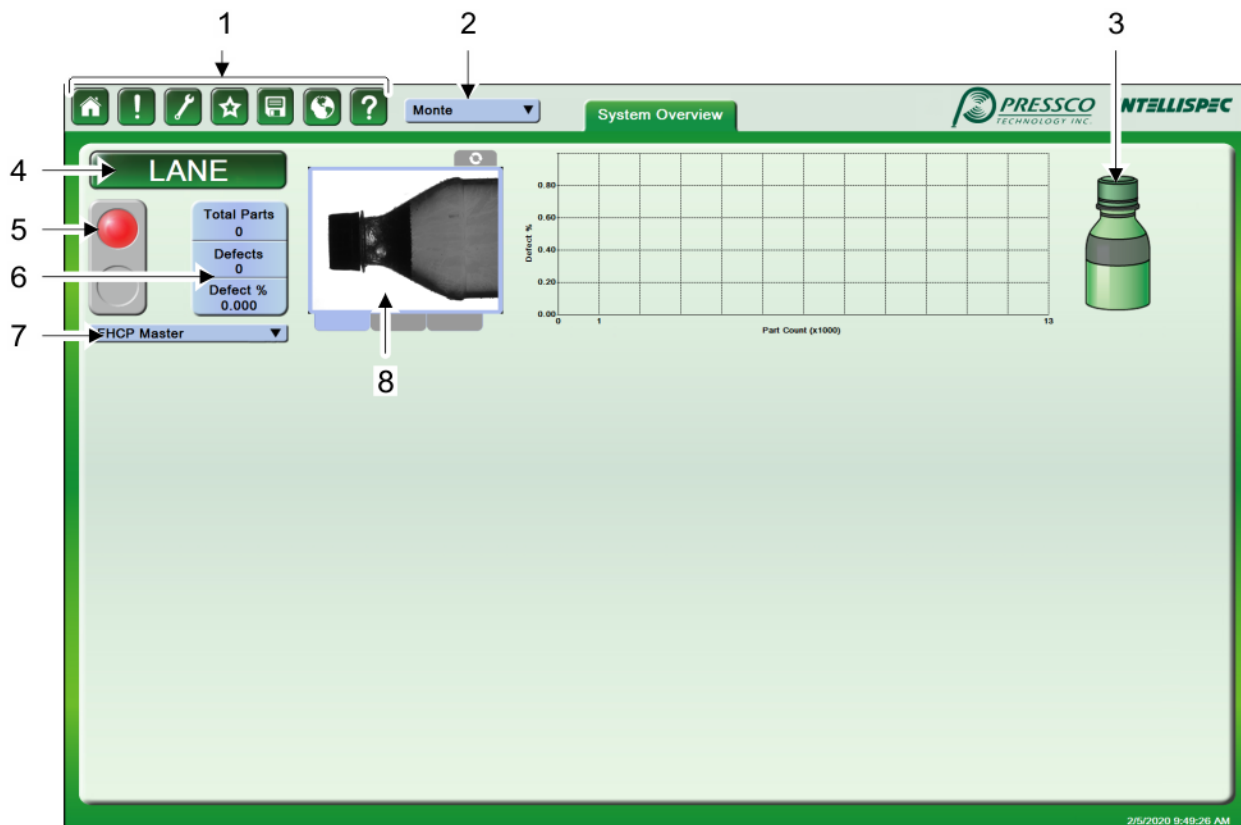
このセクションでは、Intellispecソフトウェアの主要な4種類の画面について説明します。

「システムの概要」画面



「ホーム」アイコンを選択すると、「システムの概要」画面が表示されます。

注意: システムによっては複数のレーンが使用されていることがあります。この例は1レーンのシステムです。



- 1 - "メニューツールバー" ページ47
- 2 - ログイン/ログアウト

セクション 8

- 3 - ウォークバイグラフィック
- 4 - 「レーンの概要」を表示
- 5 - オンライン/オフライン
- 6 - レーンの統計情報
- 7 - 部品プログラム
- 8 - ハートビート画像

「レーンの概要」画面

「レーンの概要」画面を表示するには「レーン」ボタンを押します。



- 1 - 詳細な「センサービュー」に切り換えたり、戻ったりするにはセンサーボタンを押します。
- 2 - 「システムの概要」に戻ります。

「センサーの概要」画面

「センサーの概要」画面を表示するには「センサー」ボタンまたは「カメラ」ボタンを選択します。

セクション 8

2 →

1 →

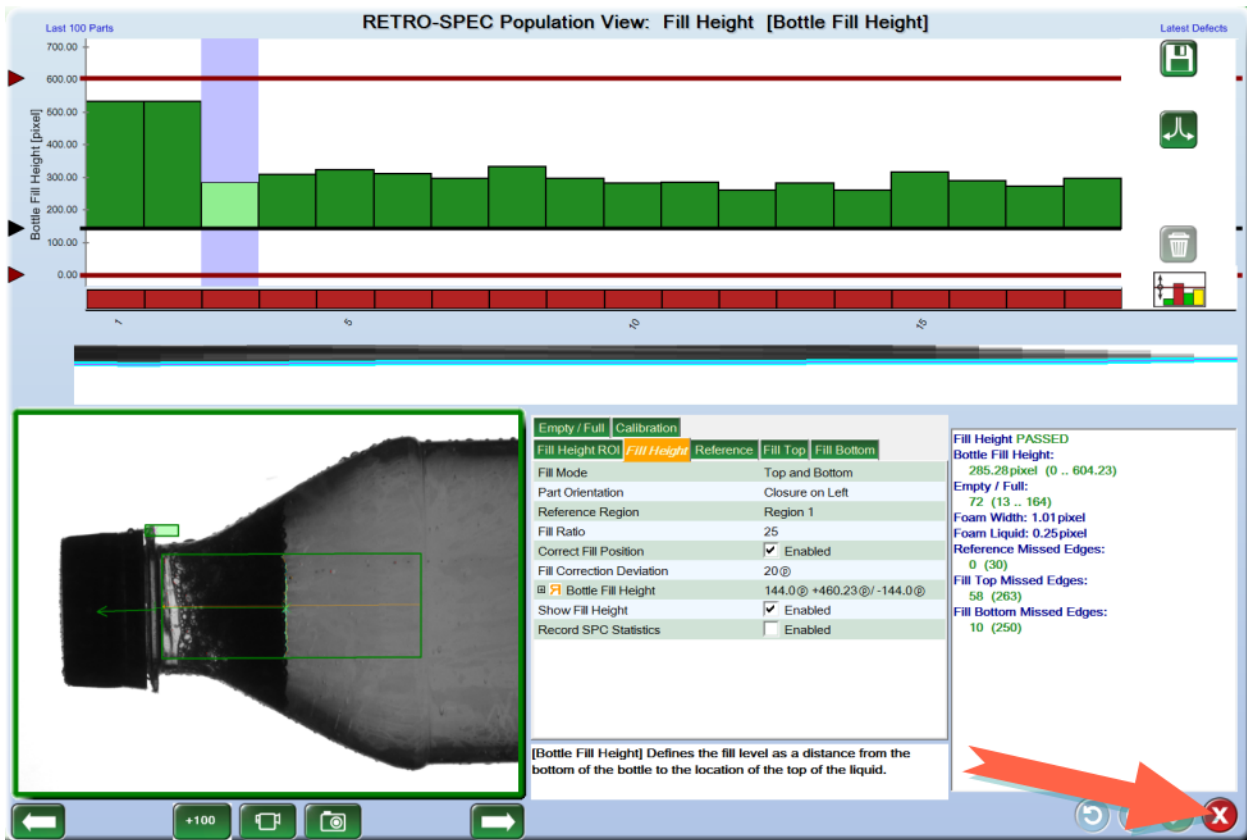
Inspection	Result
Empty Pocket ROI	Good
Empty Pocket	Good
Center Region	Good
Seal Center	Good
Seal Surface ROI	Good
Seal Surface Inspection	Bad
Choked Neck Region	Good
Choked Neck	Good
Ovality ROI	Good
Ovality Inspection	Good

1 - ダブルクリックして検査ビューを開きます。

2 - 「システムの概要」に戻ります。

「検査の概要」画面

「検査」ツリーの検査名をダブルクリックすると、「検査の概要」画面が表示されます。この画面を使用して、検査パラメーターの調整を行うことができます(必要なユーザー権限がある場合)。



「検査ビュー」を閉じると、「システムの概要」または「センサーの概要」が表示されます。

統計メニュー

統計を表示、リセット、または印刷するには、「レーンの概要」画面の「統計」メニューを使用します。

注意: ハイレベルのユーザーでなければ使用できないメニュー項目も存在します。

Lane n 「統計」メニュー表示するには、「レーン」ボタンを選択して、「統計」ボックスをクリックします。

Total Parts 2465 <hr/> Defects 364 <hr/> Defect % 14.767	Statistics Menu Clear Lane Statistics ← 1 Clear Lane Statistics and Clear Images ← 2 Clear Last-N Statistics Only ← 3 Clear SPC Statistics Only ← 4 Clear Machine Part Statistics Only ← 5 Print Lane Report ← 6 Statistics Last Reset ← 7
--	--

1-「レーン統計を消去する」-このレーンのみ、統計情報を消去します。

2-「レーン統計を消去し、画像を消去する」-このレーンの統計情報を消去し、不良品画像バッファを空にします。

セクション 8

3-「**直近N個の統計のみを削除する**」-「直近のN個」および「直近のN個に占める割合(%)」の統計情報を消去します。また、分布ベースのアラームのカウント値を消去し、現在トリガーされているアラーム(「不良率」、「良品」、「排除率」、「排除件数が多すぎます」、「警告件数が多すぎます」、「連続不良」など)を解除します

4-「**SPC統計のみを削除する**」-(Retro-Spec検査でSPCデータを保持できるように設定している場合にのみ使用可能)統計的工程管理の統計情報を消去します。

5-「**機械部品の統計のみを消去する**」-(システム上で機械部品の相関を有効設定している合にのみ使用可能)機械部品の統計情報を消去します。

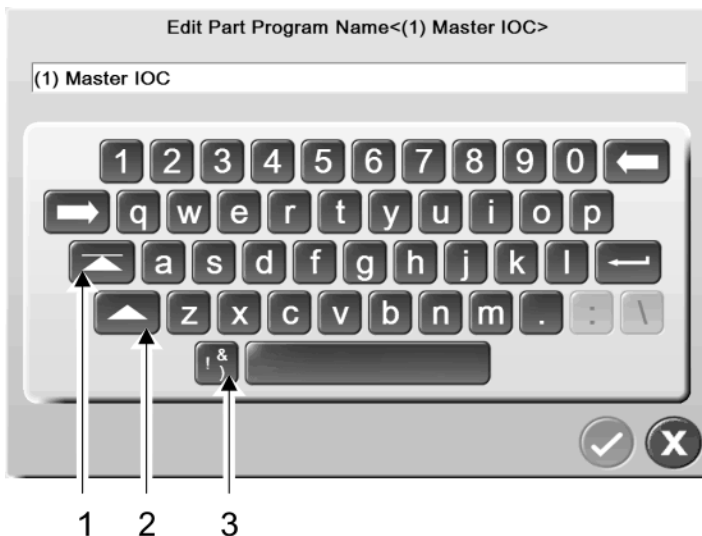
6-「**レーンレポートを印刷する**」-デフォルト設定のプリンターにレーン統計レポートを送信します。

7-「**直近の統計リセット**」-レーン統計が最後にリセットされた日時を表示します。

画面に表示されるキーボード(OSK)

必要な入力の種類に対応したキーボードが表示されます。表示言語に合わせて、他のキーを使用することができます。現在の操作に必要なでないキーが淡色表示されていることがあります。

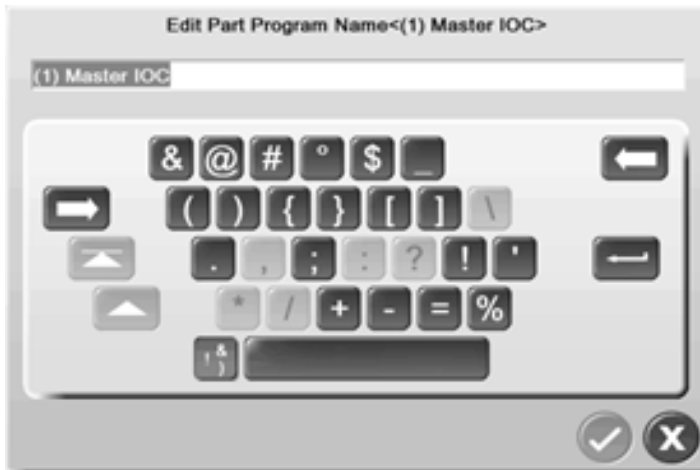
英数字キーボード



1-シフトロックボタン-もう一度このボタンを押すまで、すべての文字を大文字にします。

2-シフトボタン-1文字を大文字にし、自動的に小文字の入力に復帰します。

3-記号ボタン-記号の入力に使用します。



<p>АБВ ABC</p>	<p>ラテンキー: このキーは、一部の言語で使用でき、ラテン文字の入力に使用します。これは、ファイル名 拡張子など、一部のシステムレベルの項目の入力に必要です。</p>
---------------------------	--

数字キーパッド

入力フィールドに数値を入力する必要がある場合は、数字キーパッド(テンキー)が表示されます。ほとんどのボタンは、表示通りの機能が割り当てられています。数字以外のボタンの説明を下記に示します。

注意: 入力に不要な、一部のボタンが表示されないことがあります。

	<ol style="list-style-type: none"> 1 - バックスペースー 1文字消去します。 2 - エンターー このキーボードを閉じずに、Intellispecの画面の入力フィールドへの数値の入力を確定します。これは、値をテストし、その変更結果をすぐに確認する必要がある場合に便利です。 3 - [+/-]ー 数値に正負の記号を付加します。 4 - [.]ー 入力フィールドでの小数の入力が有効な場合にのみ使用できます。 5 - [<=>]ー パラメーターの次の限界値の入力に使用します。パラメーターに3個以上の限界値が存在する場合、メニューで選択した値がアスタリスクに挟まれて表示されます。 <div data-bbox="537 1476 1073 1640" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">Polygon Ambient</td> </tr> <tr> <td>Ambient Technique</td> <td>Density</td> </tr> <tr> <td>Ambient Analysis Mode</td> <td>Min & Max</td> </tr> <tr> <td>Region Extract Method</td> <td>Read Radially</td> </tr> <tr> <td>Ambient Limits</td> <td>-128 -118 117 *127*</td> </tr> <tr> <td>Nominal</td> <td>128</td> </tr> </table> </div> <ol style="list-style-type: none"> 6 - 「OK」ボタンを押すと、変更が確定され、数字キーパッドが閉じます。 	Polygon Ambient		Ambient Technique	Density	Ambient Analysis Mode	Min & Max	Region Extract Method	Read Radially	Ambient Limits	-128 -118 117 *127*	Nominal	128
Polygon Ambient													
Ambient Technique	Density												
Ambient Analysis Mode	Min & Max												
Region Extract Method	Read Radially												
Ambient Limits	-128 -118 117 *127*												
Nominal	128												

メニューツールバー



注意: 「システムの概要」モードであるか「レーン/センサーの概要」モードであるかに応じて、一部のメニュー項目が異なります。

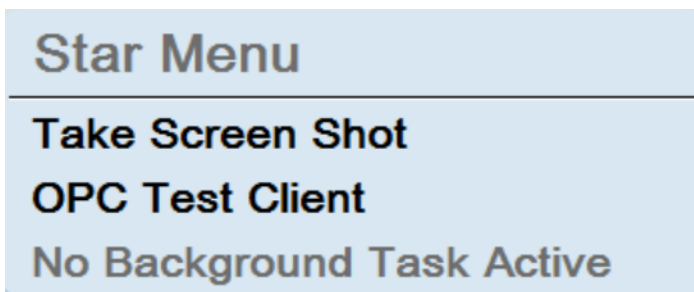
- 1) **ホーム** – 「システムの概要」画面を表示します
- 2) **アラーム** – アラームの解除、表示、設定を行います
- 3) **ツールメニュー** – システム設定、レポート、ハードウェア、部品の追跡、部品の設定などの設定を行います
- 4) **スターメニュー** – スクリーンショットの取得、バックグラウンドタスクの管理、およびOPCクライアント(インストールされている場合)の起動を行います
- 5) **バックアップおよび復元メニュー** – サポートパッケージの作成、サポートパッケージからのシステムの復元、およびWindowsエクスプローラーの起動を行います
- 6) **言語** – 使用可能なオプションから、Intellispecソフトウェアで使用する言語を選択します
- 7) **ヘルプ** – ヘルプトピックの表示、リモートサポートへのアクセス、ソフトウェアバージョンの表示を行います

スターメニュー



このメニューを表示するには、ツールバーの「スター」ボタンを選択します。

注意: ハイレベルのユーザーでなければ使用できないメニュー項目も存在します。



このメニューを使用して、下記のユーティリティにアクセスすることができます:


"スクリーンショットを撮る" 次のページ

Intellispec OPCテストクライアント – オプションのOPCパッケージが組み込まれている場合のみ。システムがオンラインのときに、このメニューを使用してOPCクライアントを開きます。

スクリーンショットを撮る

Intellispecの画面の画像を取得します。これは、「画像を保存する」機能を使用して個々の部品の画像を保存することとは異なります。スクリーンショットは、エラーメッセージを取得してテクニカルサポートに問題を説明したり、将来の設定のために現在の設定を取得するのに役立ちます。

現在のIntellispecの完全な画面の画像を取得する手順:

1.  「スター」ボタンを選択して、「スクリーンショットを撮る」を選択します。デフォルトの画像名が入力されたオンスクリーンキーボードが表示されます。
2. 必要に応じて、スクリーンショットの名前を変更します。
3. 「OK」ボタンを押して画像を保存します。この画像は、ポータブルネットワークグラフィック画像(.png)として「C:\Pressco\DataExport\ScreenShots」のロケーションに保存されます。

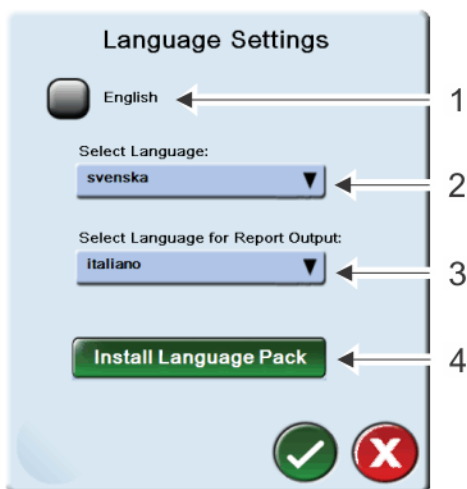
言語



言語を選択します。



注意: 言語(数値と日時の表示形式を含む)を変更することができるのは、この「言語設定」ダイアログ(下図)のみです。これらの設定をWindowsで行うことはできません。コンピューターのロケールは米国英語のままにしておく必要があります。そうでないと、エラーが発生して、重要な情報が失われる可能性があります。



- 1 - **英語** — このチェックボックスをオンにすると、使用可能な言語名が米国英語で表示されます(例: 「svenska」ではなく「Swedish」など)。
- 2 - **言語を選択する** — ユーザーインターフェースでの表示に使用する言語を選択します。
- 3 - **レポート出力用言語を選択する** — 「統計情報」メニューの「レーンレポート」など、レポート用の言語を選択します。
- 4 - **言語パックをインストールする** — 新しい言語が利用可能になったときに、このオプションを使用して適切なファイルをインストールします。その言語パックをインストールするための手順がPresscoから提供されます。

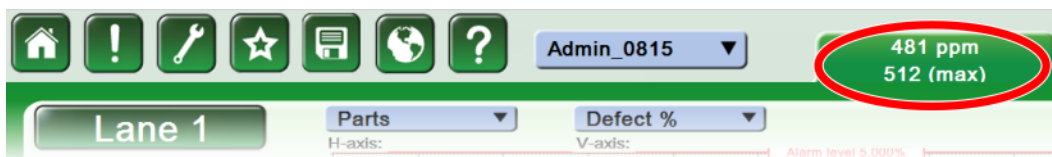
部品搬送速度

部品搬送速度が、「レーンの概要」および「センサーの概要」のモードで表示されます。「部品搬送速度」タブを右クリックして「部品搬送速度をリセットする」を選択することにより、部品搬送速度リセットすることができます。



部品搬送速度の表示:

- ppm(1分あたりの個数) – 過去5秒間に計測された平均搬送速度。1秒ごとに更新されます。
- 最大 – 過去5秒間に検査されたすべての部品の搬送速度の最大値(1分あたりの個数)。表示される値は、過去5秒間の最大値です。




セクション 9 アラーム

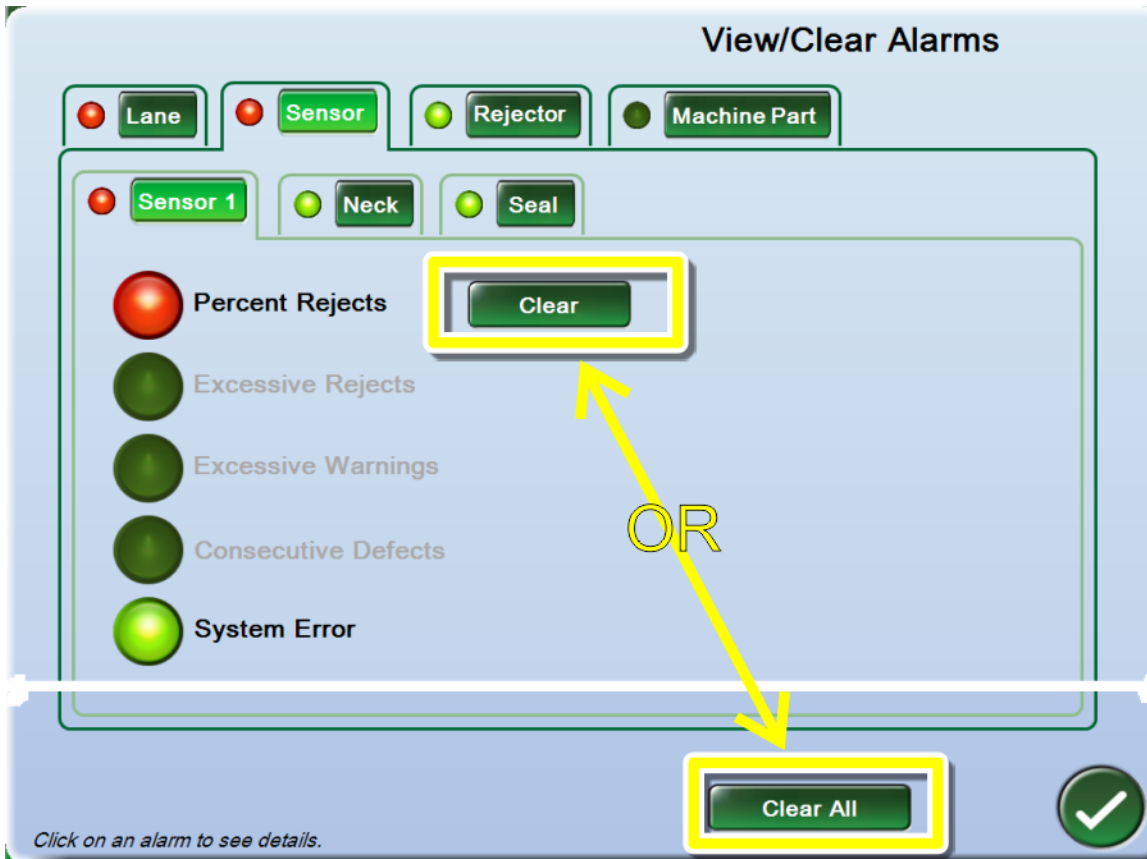
アラームには、「システム」、「レーン」、「センサー」、「リジェクター」、および「機械部品」の5種類があります。「システム」アラームの「UPS」と「過熱」を除き、これらはすべて設定変更が可能です。

注意: アラームは、そのアラームが自動的に解除されたときでも、システムログリーダーに記録されていません。




アラームを表示して解除する

ALARM  アラームを表示または解除するには「アラーム」ボタンを押します。アクティブなアラームが存在しない場合は、「アラーム」アイコン、「アラームを表示/解除する」を押します。

単一のアラームを解除するときは「解除」ボタンを、他のタブに表示されているものも含めてすべてのアラームを解除するには「すべて解除」ボタンを使用します。



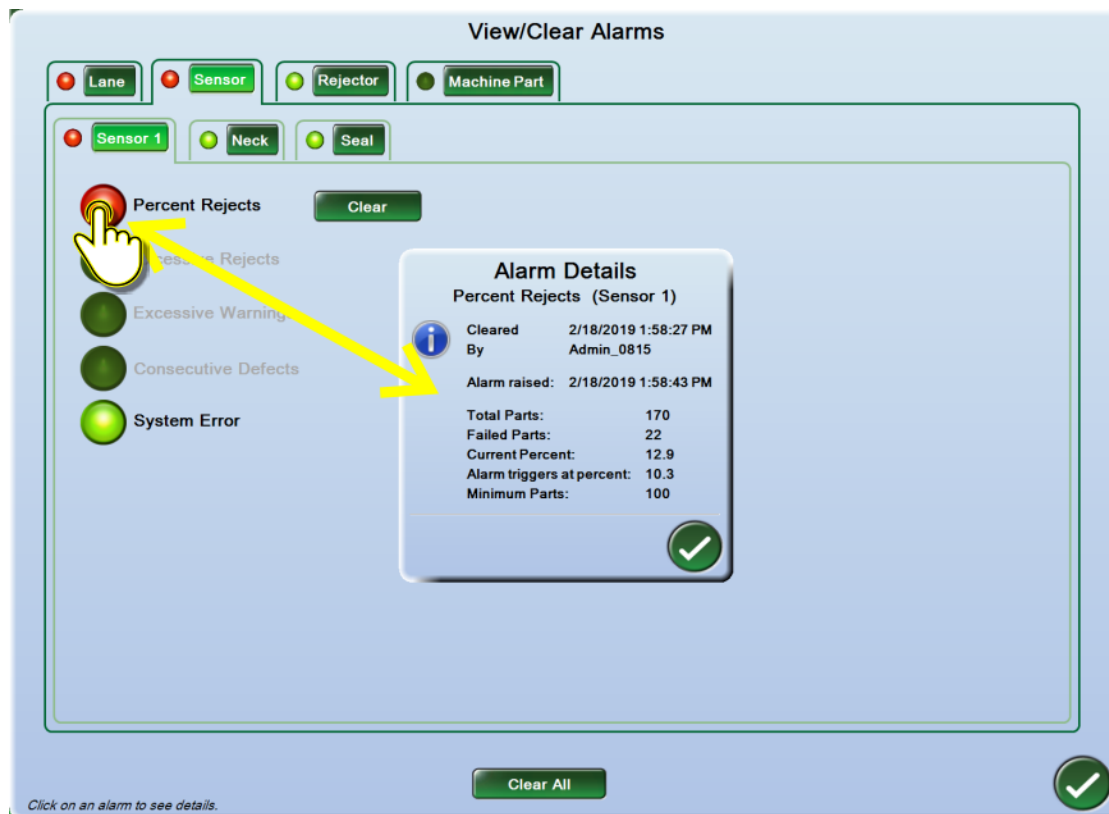
アラームが有効設定されているかどうか、およびアラームが発生しているかどうか、この画面のインジケータで表されます。

-  赤色点灯 — 有効設定されたアラームが発生しています。
-  緑色点灯 — このアラームは有効設定されていますが、発生していません。
-  緑色消灯 — このアラームは有効設定も発生もしていません。

セクション 9

別のタブを選択することにより、さらに多くのアラームを表示することができます。「レーン」を除いて、タブ(親)にはサブタブ(子)が存在します。サブタブ(この例では「センサー1」)でアラームが発生すると、親タブ(「センサー」)にもアラームが表示されます。

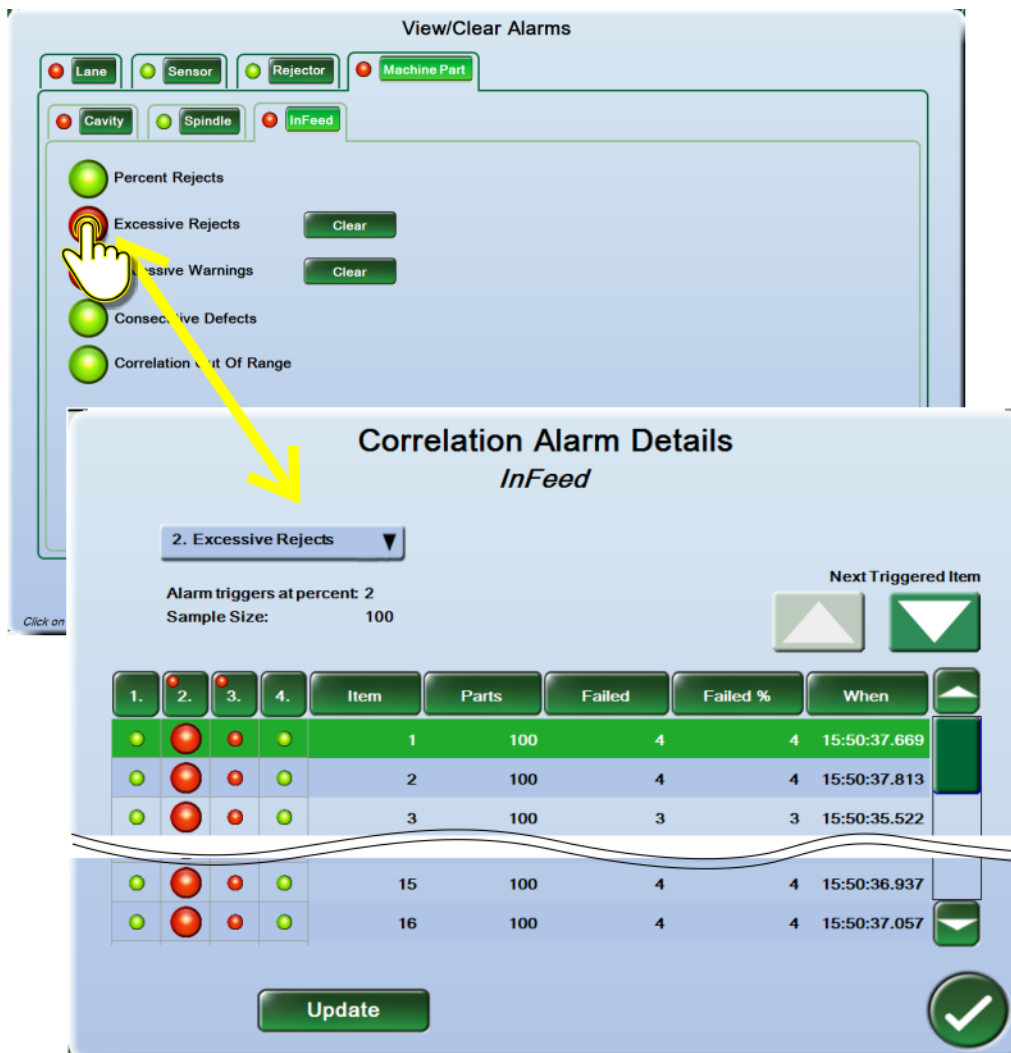
アラームの詳細を表示するには、対応するインジケーターを選択します。アラームがアクティブでなくても可能です。



機械部品アラームを表示して解除する



「アラーム」ボタン、「アラームを表示/解除する」、「機械部品」の順に選択します。



機械部品アラームをクリックすると、相関値(機械部品アイテム)ごとにアラームの詳細を分類した詳細テーブルが表示されます。

このテーブルで、ドロップダウンを使用するか、列(1、2、3など)をクリックして、(有効な)アラームを選択することができます。

「次のトリガーアイテム」ナビゲーターは、すべての機械部品を同時に表示できない場合に、アラームが発生しているアイテムをすばやく見つけるのに役立ちます。

「更新」ボタンを押すと、現在の検査情報が更新されます(現在までに処理済みの部品数と不良品の数。このビューの表示中にアラームが発生した場合には、自動的に更新されます)。

システムアラーム—説明および設定

システムアラームは、UPS(無停電電源)およびCPUの温度アラームです。UPSのシャットダウン時間を設定できます。

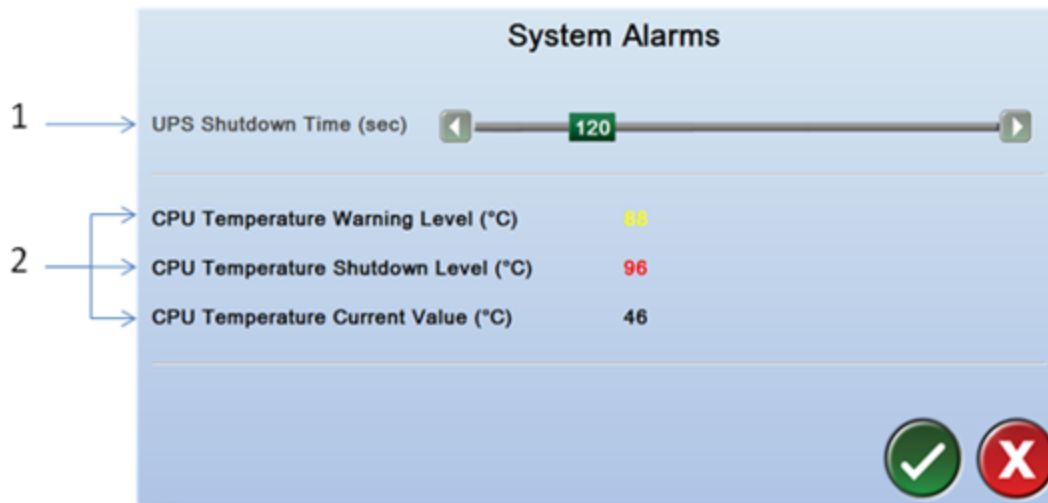
これらは「システムの概要」画面にのみ表示され、点滅するレーンボタンとして表示されたりシグナルタワーに表示されることはなく、警報機も鳴りません。

アラーム	説明	アクション
UPS	<p>バッテリーの機能が失われている。</p> <p>または、プラントの電力が失われたか、UPSのシャットダウン時間が経過した。Intellispecがシャットダウンする。</p>	<p>バッテリーを交換する。</p> <p>自動リセット</p> <p>Intellispecがシャットダウンする前に、電源が復旧した場合は、このアラームは自動的に解除される。</p> <p>そうでない場合はシステムを再起動する。</p>
過熱	<p>CPU温度が、推奨の常用最高温度を超えた。</p> <p>Intellispecがシャットダウンする。CPUの温度が十分に低下するまで待つてから、作業に復帰する必要がある。</p>	

システムアラームの設定



このメニューを表示するには、「ホーム」を選択して、「アラーム」を選択します。



















1 - **UPSシャットダウン時間** AC電源が喪失した場合にUPSによってシステムへの電源の供給を維持する秒数。Intellispecは、この時間の経過後にシャットダウンします。これにより、Windowsの通常のシャットダウンを行うことができます。

2 - **CPU温度** マルチコアCPUが使用されている場合は、最高温度が表示されます。シャットダウンCPU温度に達した場合は、Intellispecシステムのシャットダウンが行われます。

レーンアラーム—簡単な説明

レーンアラームは、一つのレーンに関連しているハードウェアに影響を与えます。レーンとは、通常は一つの製造ラインを指し、複数のセンサーを含むことができます。

セクション 9

アラーム	説明	アクション	4色シグナルタワー ²	5色シグナルタワー ²
不良率 ¹	不良率が設定限度を超えた	製造ラインを点検して、不良品の発生が多い理由を調べる 画面のアラームをリセットする	 赤	 赤
オフライン ¹	レーンがオフラインに移行した	自動リセット	 緑色 = システムはオンライン  赤色 = システムはオフライン	 緑色 = システムはオンライン  赤色 = システムはオフライン
シュート満杯 ¹	排除シュートが満杯になった	シュートを空にする 画面のアラームをリセットする	 赤	 赤
電源のステータス ¹	レーンのAC電源が遮断された	自動リセット トラブルシューティング: 検査モジュールの電源スイッチがオンになっていることを確認します。+24 Vが供給されていることを確認します。	 赤色 = レーンのAC電源が遮断された  青色 = 電源は正常	 赤色 = レーンのAC電源が遮断された  白色 = 電源は正常
良品数 ¹	部品カウンターとして使用。指定した部品数に達すると、このアラームがトリガーされる。	計数された部品数が収容されているボックスを空のボックスと交換し、アラームを解除する。 画面のアラームをリセットする	 赤	 赤
システムエラー ¹	部品トラッカーまたは内部システムのエラー	特定のアラームに依存(システムエラーアラームの詳細を参照) 画面のアラームをリセットする	 赤 部品トラッカーの通信喪失の場合赤色の点滅	 赤 部品トラッカーの通信喪失の場合赤色の点滅

¹ PLCなどの外部監視デバイスに接続する場合は、それぞれのレーンにオプションの「拡張I/Oボード」が必要です。

² 「表示有効」の場合は、この色がシグナルタワーに所定の時間表示されます。

センサーアラーム – 簡単な説明

センサーアラームは、センサー(カメラまたは他のセンサー)ごとに設定します。




アラーム	説明	アクション	シグナルタワー ²
不良品排除率 ¹	排除率 このアラームは、「トリガー(%)」に達したときにトリガーされます。このアラームは、作業担当者が解除するまで、発生したままの状態を維持する。	製造ラインを点検して、不良品の発生が多い理由を調べる 画面のアラームをリセットする	 赤
不良品排除件数過大 ¹	排除件数が多すぎます このアラームは、最後の「サンプルサイズ」の部品数のトリガー[%]が欠陥であると判定された場合に表示されます。このアラームは、作業担当者が解除するまで、発生したままの状態を維持する。	製造ラインを点検して、不良品の発生が多い理由を調べる 画面のアラームをリセットする	 赤
警告件数過大 ¹	警告件数が多すぎます このアラームは、最後の「サンプルサイズ」部品数のトリガー[%]が、警告ステータス付きであると判定された場合に表示されます。このアラームは、作業担当者が解除するまで、発生したままの状態を維持する。検査の編集時に、「Retro-Spec」オプションを使用して警告を有効設定します。また、「レーンのセットアップ」の「機能を選択する」を使用して、有効設定にすることもできます。	製造ラインを点検して、不良品の発生が多い理由を調べる 画面のアラームをリセットする	 黄色
連続不良品数 ¹	連続不良 連続発生数を超えると、このアラームが発生する(センサーで検出された連続不良品数が多過ぎる)。このアラームは、作業担当者が解除するまで、発生したままの状態を維持する。	製造ラインを点検して、不良品の発生が多い理由を調べる 画面のアラームをリセットする	 赤
質量センサーの光源	質量センサーの光源 – このアラームは、照明の値がしきい値の最小レベルを下回ったときにトリガーされます。	質量センサーとエミッターを清掃する 画面のアラームをリセットする	なし
システムエラー ¹	見逃された部品、取得失敗、見逃された結果、または他の内部エラー	画面のアラームをリセットする	 赤

¹ PLCなどの外部監視デバイスに接続する場合は、それぞれのレーンにオプションの「拡張I/Oボード」が必要です。

²「表示有効」の場合は、この色がシグナルタワーに所定の時間表示されます。

リジェクターアラーム—簡単な説明

リジェクターアラームは、不良品が正常に排除されなかった場合にトリガーされます。

アラーム	説明	アクション	シグナルタワー ²
排除確認での滞留 ¹	排除確認パスが所定の時間を超えてブロックされている。	リジェクターに詰まっている部品を取り除き、アラームを解除する。 画面のアラームをリセットする	 赤
排除に失敗 ¹	システムが部品の排除に失敗した。	画面のアラームをリセットする	 赤
失敗結果 ¹	完全な検査が完了する前に部品がリジェクターに到達し、その結果が部品トラッカーに送信された。つまり、検査の実行に時間がかかりすぎた。	これが頻繁に発生する場合は、検査設定をチェックする。設定を変更することにより検査時間の短縮が可能な場合がある。 画面のアラームをリセットする	 赤



¹ PLCなどの外部監視デバイスに接続する場合は、それぞれのレーンにオプションの「拡張I/Oボード」が必要です。

²「表示有効」の場合は、この色がシグナルタワーに所定の時間表示されます。

機械部品アラーム—簡単な説明

機械部品アラームは相関ベースのアラームです。システムに相関センサーが組み込まれている場合にのみ表示されます。

注意: 機械部品アラームの場合、相関が範囲外の場合を除き、統計は各相関値に個別に適用されません。つまり、100個の機械部品の1個が100%の時に不良と判定された場合、検出される百分率値は100%ですが、実際の不良率は1%です。

アラーム	説明	アクション	シグナルタワー ²
不良品排除率 ¹	排除率 このアラームは、「トリガー(%)」に達したときにトリガーされます。このアラームは、作業担当者が解除するまで、発生したままの状態を維持する。	製造ラインを点検して、不良品の発生が多い理由を調べる 画面のアラームをリセットする	 赤
不良品排除件数過大 ¹	排除件数が多すぎます このアラームは、最後の「サンプルサイズ」の部品数のトリガー[%]が欠陥で	製造ラインを点検して、不良品の発生が多い理由を調べる 画面のアラームをリセットする	 赤

セクション 9

アラーム	説明	アクション	シグナルタワー ²
	あると判定された場合に 表示されます。このアラ ームは、作業担当者が解 除するまで、発生したま まの状態を維持する。	する	
警告件数過大 ¹	警告件数が多すぎます このアラームは、最後の 「サンプルサイズ」部品数 のトリガー[%]が、警告ス テータス付きであると判定 された場合に表示されま す。このアラームは、作業 担当者が解除するまで、 発生したままの状態を維 持する。検査の編集時 に、「Retro-Spec」オプ ションを使用して警告を 有効設定します。また、 「レーンのセットアップ」の 「機能を選択する」を使 用して、有効設定にする こともできます。	製造ラインを点検して、 不良品の発生が多い理 由を調べる 画面のアラームをリセット する	 黄色
連続不良品数 ¹	連続不良 連続発生数 を超えると、このアラ ームが発生する(センサ ーで検出された連続不良 品数が多過ぎる)。この アラームは、作業担当 者が解除するまで、発 生したままの状態を維 持する。	製造ラインを点検して、 不良品の発生が多い理 由を調べる 画面のアラームをリセット する	 赤
相関が範囲外	相関が範囲外 — この アラームは、構成されて いない機械部品を部品 トラッカーがカウントし た場合にトリガーされ ます。	画面のアラームをリセット する	 赤

¹ PLCなどの外部監視デバイスに接続する場合は、それぞれのレーンにオプションの「拡張I/Oボード」が必要です。

² 「表示有効」の場合は、この色がシグナルタワーに所定の時間表示されます。

セクション 10 グラフ

ユーザーインターフェース上で、検査のトレンドの表示に役立つ、いくつかのグラフを使用することができます。このセクションでは、「レーンの概要」および「センサーの概要」のモードの、それぞれの画面の右側の部分に表示されるボタンについて説明します。

ウォークバイグラフィックの概要

Walk-by

ウォークバイグラフィックは部品のグラフィック表現であるため、部品のどの領域で問題が発生しているかをすばやく特定できます。Intellispecにすばやく近寄って、グラフィックを見て検査のステータスを判断できることから、「ウォークバイ」と呼ばれています：

- 緑色 = 合格部品
- 黄色 = 警告。損傷率が限界に近づいているが、まだ限界には達していない。損傷率が高くなりすぎる前に、製造プロセスに変更を加えることができる。
- 赤色 = 不合格部品

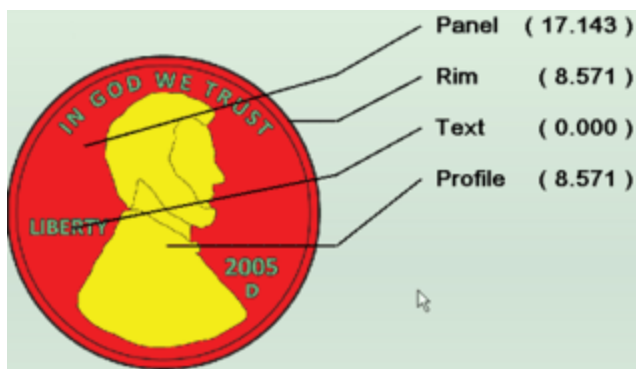
ウォークバイグラフィックには2種類あります：

- 小さなウォークバイグラフィック：「システムの概要」、「レーンの概要」、および「センサーの概要」モードで表示されます。
- 大きなウォークバイグラフィック：「レーンの概要」モードで表示されます。

大きなウォークバイグラフィックを表示する手順：

1. **Lane n** 「レーン」ボタンを選択します。
2. **Walk-by** 画面の右側の部分に表示されている、「ウォークバイ」ボタンを選択します。

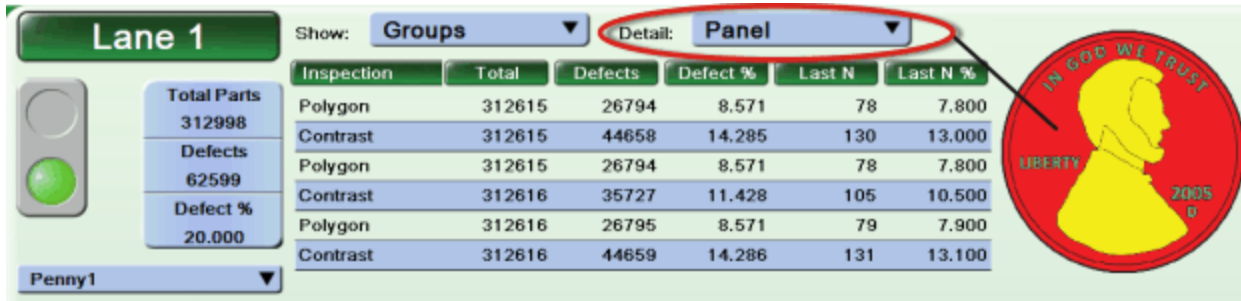
大きなウォークバイグラフィックには、その部品の当該領域を示すグループ名が表示されます。また、検査結果から、これらのグループの、それぞれの不良率も表示されます。



ウォークバイグラフィックを使用する

グラフィックの領域を選択することにより、検査情報が表示されます。下記の例は下記を示しています：

- 「パネル」グループが選択されたー「パネル」に関するすべての検査が表に表示されています
- ウォークバイグラフィックのパネル領域が赤色ーこの検査グループの平均不良率(%)が、「ウォークバイの設定」の限界値を超えています



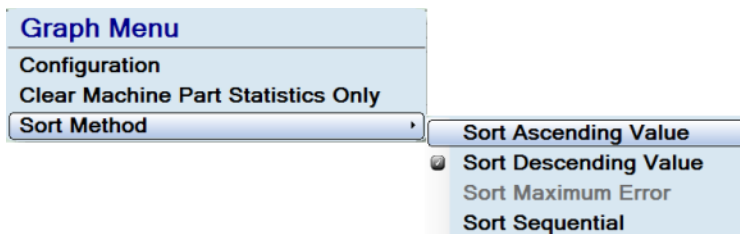
表の検査をダブルクリックすると、その検査を開いて編集することができます。注意：ハイレベルのユーザーでなければ使用できないメニュー項目も存在します。

グラフのデータを並べ替える

「トレンドグラフ」または「機械部品グラフ」(構成されている場合)に表示されるデータの表示順序を変更します。

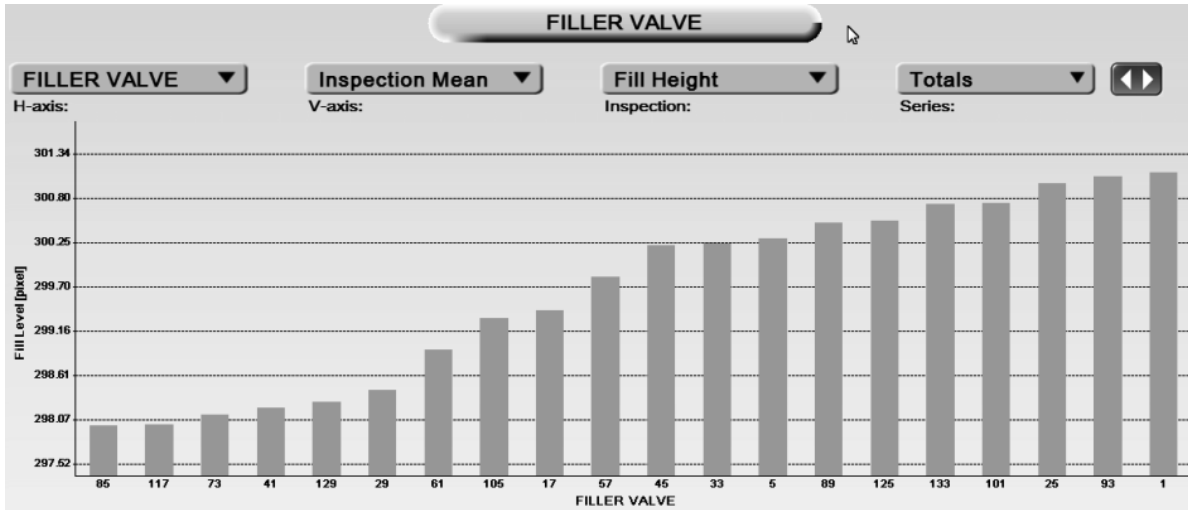
注意：並べ替え順序を変更すると、上側および下側の画面に表示される「トレンドグラフ」または「機械部品グラフ」に適用されます。他のグラフには影響を与えません。

グラフのデータを並べ替えるには、グラフを右クリックして、「ソート方法」を選択し、オプションを選択します。



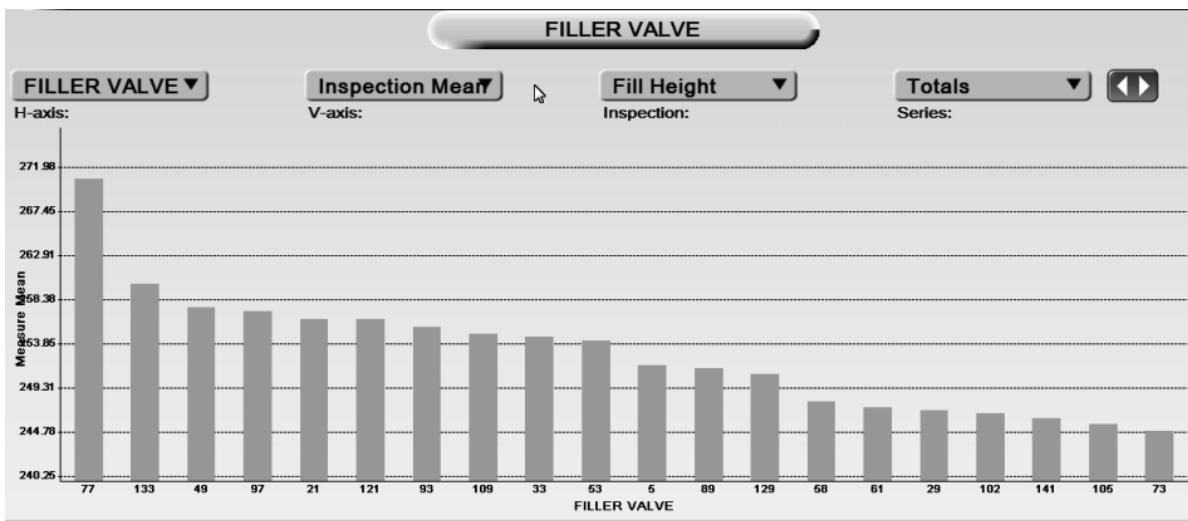
値の昇順ソート

値の小さなものから大きなものへの順に並べ替えます。下記の例では不良品数の最も多い機械部品がグラフの右側に示されています。



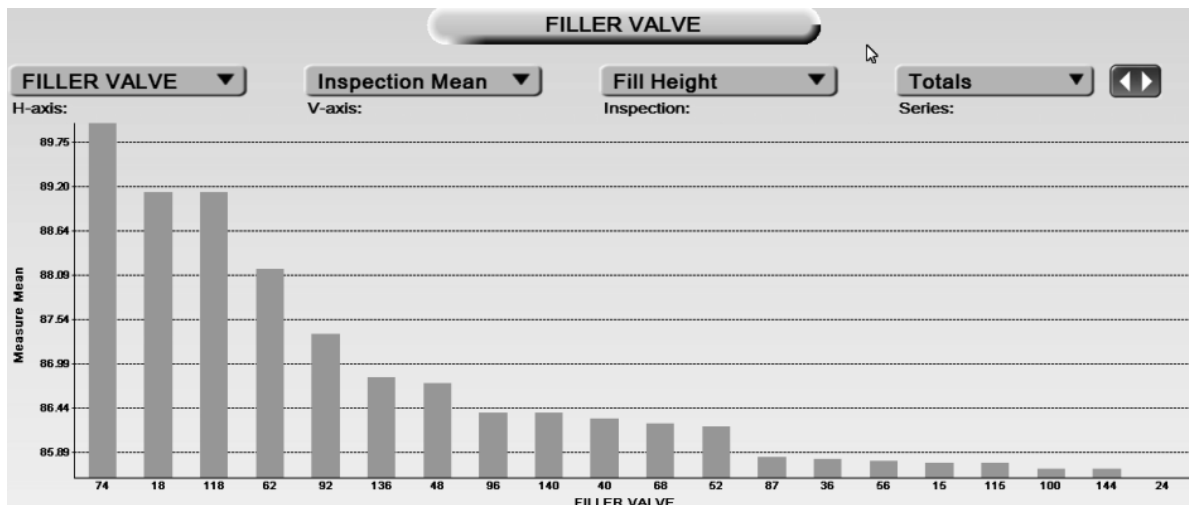
値の降順ソート

値の大きなものから小さなものへの順に並べ替えます。下記の例では不良品数の最も多い機械部品がグラフの左側に示されています。



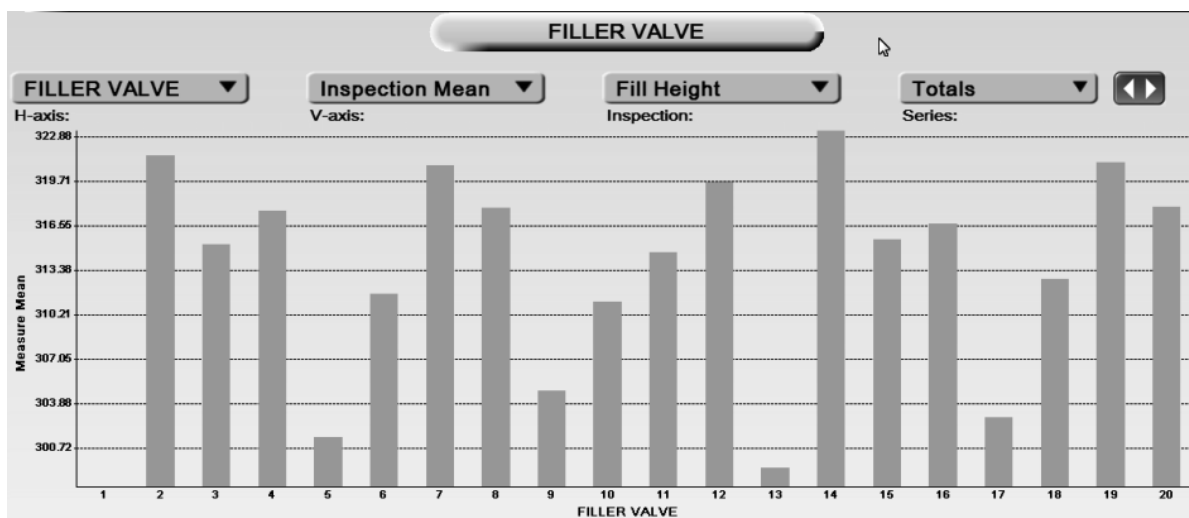
最大のエラーの順に並べ替える

(検査で「SPC統計を記録する」が有効設定され、「データ系列」グラフで合計が選択され、縦軸に対して「検査の平均値」が選択されている場合に使用可能) データを、最高のピーク値の絶対値が公称値から最も離れた値を示している機械部品順に並べ替えます。



番号順に並べ替える

機械部品の番号順のリストを表示します。

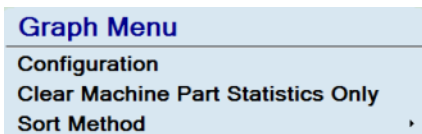


機械部品統計情報の消去

必要に応じて、機械部品の統計情報のみを消去します(相関が有効設定されている場合のみ)。

機械部品統計情報の消去手順:

1. トレンドグラフまたは機械部品グラフを押します。



2. メニューの「機械部品統計情報のみを消去」を選択します。

グラフをスクロールする



 データが現在の表示範囲(時間など)から外れると、スクロールボタンが使用可能になります。

データは、システムの電源が投入されたとき、または2880データポイントの、どちらか新しい方に戻ります。トレンドデータは、システムを再起動するとリセットされます。

- 時間ベースのグラフでは、更新ごとのグラフ時間が1分に設定されている場合、データは48時間戻ります。
- 部品ベースのグラフでは、更新あたりの部品数が1000に設定されている場合、データは2,880,000部品戻ります。

トレンドグラフ

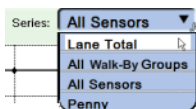
レーンのトレンドグラフを表示する手順:

1.  レーンを選択します。
2.  画面の右側の部分に表示されている、「トレンドグラフ」ボタンを押します。トレンドグラフが表示されます。

注意: 使用可能な「トレンドグラフ」ボタンには、レーン用とセンサー用の2種類があります。「レーンの概要」モードを表示している場合は、表示オプションは上側の画面のトレンドグラフで選択します。下側の画面のトレンドグラフには、上側の画面の設定が適用されます。「センサーの概要」モードの場合は、上側の画面と下側の画面で、表示オプションを個別に選択することができます。

トレンドグラフには、指定した基準に基づく統計情報が表示されます。各レーンと、そのレーン内の各センサーについて、これらのグラフを使用することができます。

「トレンドグラフ」に表示するデータを選択することができます。「データ系列」ドロップダウンメニューで表示するデータを選択します。



レーン全体 レーン内のすべてのセンサーの平均。

すべてのウォークバイグループ 検査グループに関する統計情報。これらのグループは、「ウォークバイグラフィック」の設定で定義した、部品の特定の領域に関連するグループです。

全センサー 各センサーに関する統計情報。

個別のセンサー(センサー名) 選択したセンサーのみに関する統計情報。

注意: 「すべてのウォークバイグループ」と「全センサー」のグラフの右側に、(色分けとデータポイントの形状を説明するための) キーが表示されます。

グラフの基準を変更する手順:

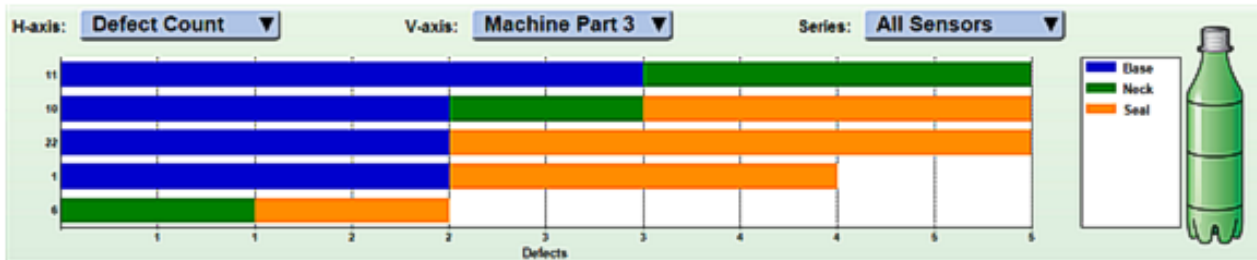
1. 任意のボタン(横軸、縦軸、検査、またはデータ系列の横)を選択して、ドロップダウンメニューオプションを表示します。
2. 使用する基準を選択します。選択した基準に基づいて、グラフの表示が更新されます。

機械部品グラフ

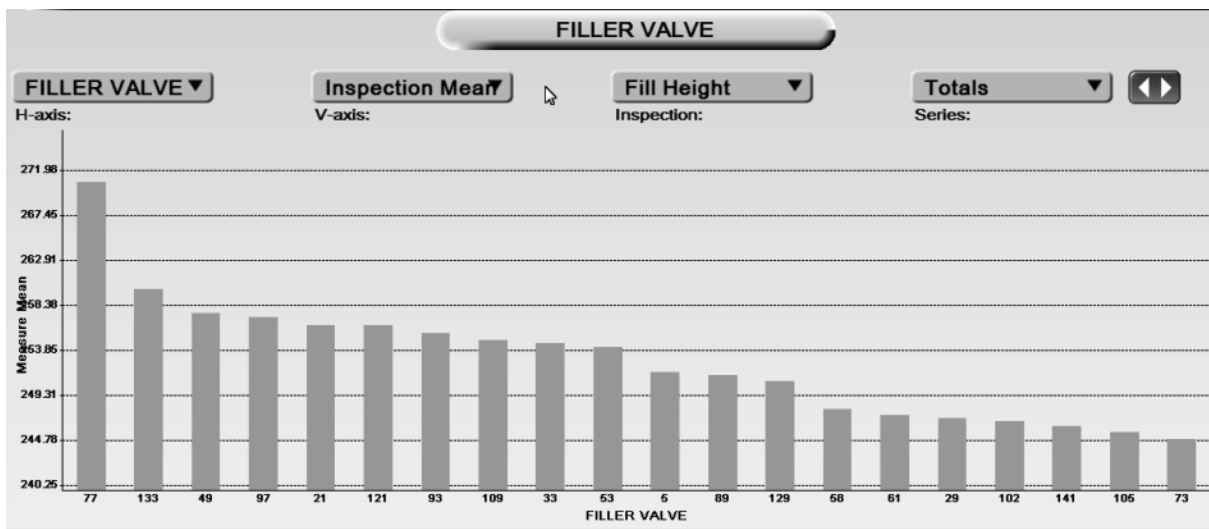
Machine Parts

機械部品グラフは、関連オプションがインストールされている場合に使用することができます。各機械部品の不良情報が表示されます。ボタン名は、システム構成と一致します。

グラフの例を下記に示します。機械部品タイプの不良品数と、各センサーに関連する不良品数が表示されています。



下記の例は、1台のカメラによる、各機械部品の充填高さの機械部品データを示しています。グラフを右クリックすることにより、並べ替え順序を変更することができます。詳細については、「グラフのデータを並べ替える」ページ59を参照してください。

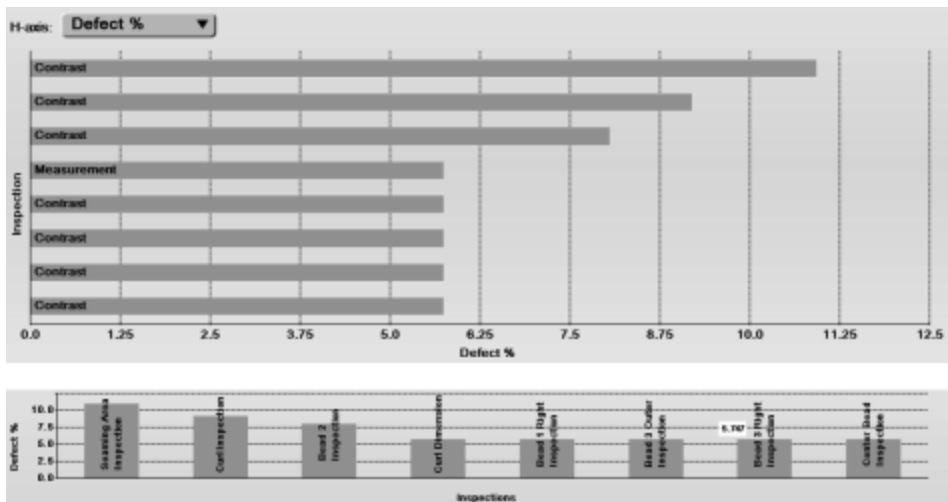


検査グラフ

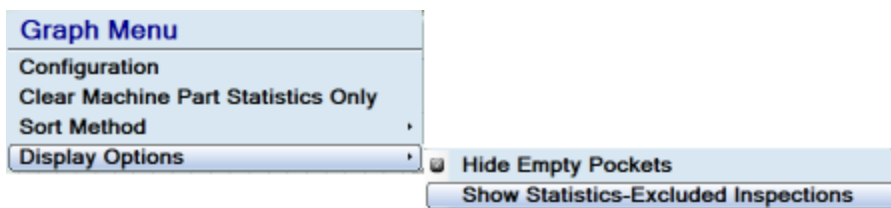
Inspections

選択したセンサーの不良品カウント数または不良率(%)を表示するには「検査」ボタンを押します。不良の降順に不合格検査が表示されます。「レーンの概要」と「センサーの概要」の両方のモードのグラフの例を下記に示します。

セクション 10



グラフを右クリックすると、「空ポケット」または「統計 - 除外」の検査について、表示または非表示を選択することができます。



セクション 11 統計およびレポート

"グラフ" ページ58も参照してください。

統計グリッド

Statistics 「統計グリッド」には各センサーに関する情報が表示されます。「統計グリッド」には「レーン」と「センサー」の2種類があります。

レーン統計グリッド

「レーン統計グリッド」(「レーンの概要」モード)には、各センサーに関する一般的な情報が表示されます。検査した部品の総数、「センサー」、「不良品数」、「不良率(%)」、「直近のN個」、および「直近のN個に占める割合(%)」が表示されます。

Show: Sensors	Detail: All					
Sensor		Total	Defects	Defect %	Last N	Last N %
Rivet		56748	56748	100.000	953	95.300
Panel		56748	56748	100.000	953	95.300

センサー統計グリッド

このグリッドは、センサー情報を表示するときに使用できます。検査、検査した部品の総数、「不良品数」、「不良率(%)」、「直近のN個」、および「直近のN個に占める割合(%)」など、各センサーに固有の情報が表示されます。

Inspection	Total	Defects	Defect %	Last N	Last N %
Pattern Match	56748	56748	100.000	953	95.300
Radial Edge	56748	0	0.000	0	0.000
Ring	56748	0	0.000	0	0.000
Ring	56748	0	0.000	0	0.000

注意: 統計表示は構成可能です。ご使用のシステムでは、表示されない項目が存在することがあります。

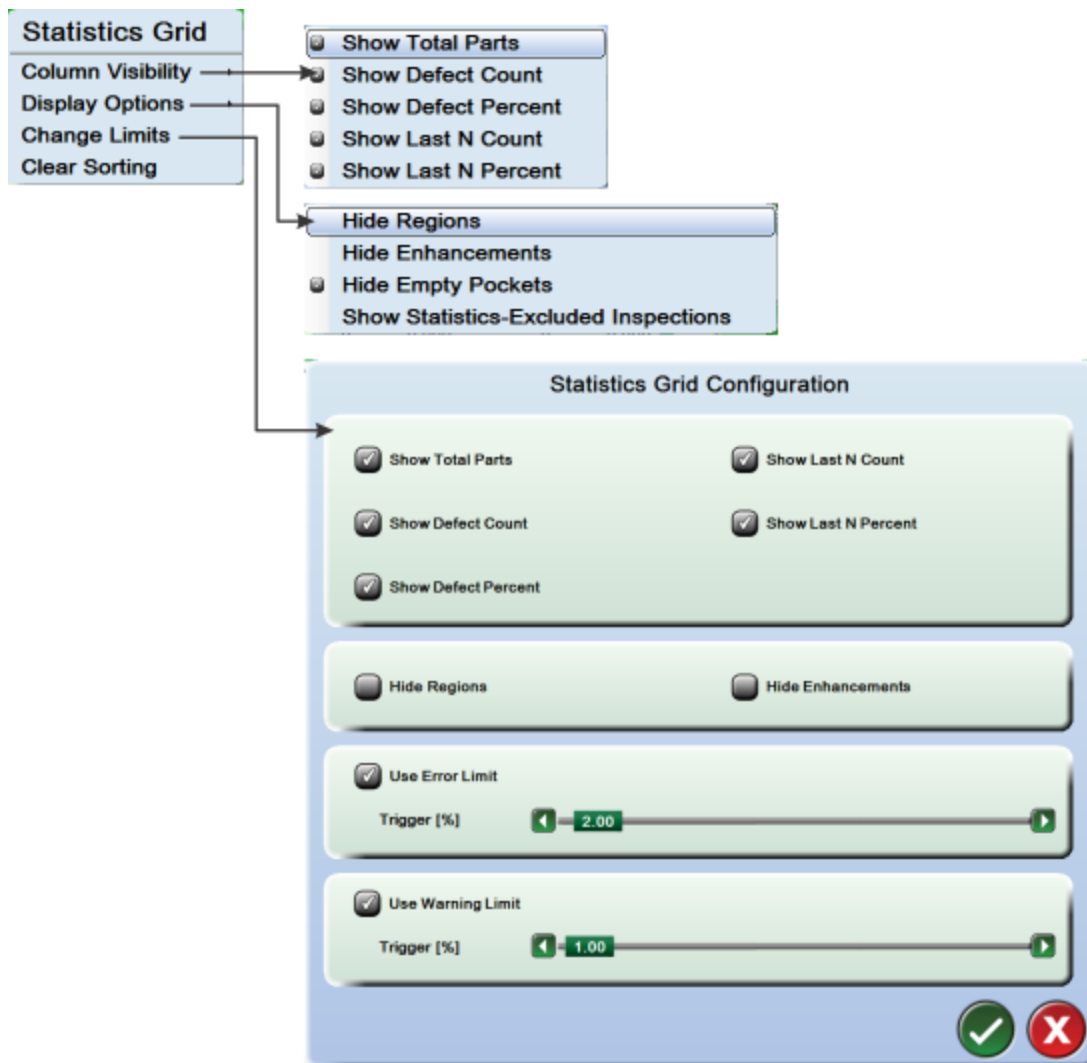
並べ替え順序

列の最上部にあるボタンを選択して、列を昇順または降順に並べ替えることができます。もう一度選択すると、逆の順序に切り替わります。右クリックすることにより、統計グリッドでの並べ替えを解除することができます。

Inspection	Total	Defects	Defect %	Last N	Last N %
Pattern Match	56748	56748	100.000	953	95.300
Radial Edge	56748	0	0.000	0	0.000
Ring	56748	0	0.000	0	0.000
Ring	56748	0	0.000	0	0.000

統計グリッドのオプション

これらの設定は、「レーンの概要」モードか「センサーの概要」モードかに関係なく、すべての統計グリッドに適用されます。統計グリッドを右クリックすると、オプションが表示されます。それぞれの説明を下記に示します。



列を表示するグリッド内の列数。

表示オプショングリッド内の行数。これは、「センサーの概要」レベルの統計グリッドにのみ影響を与えます。

領域を非表示にするグリッド内の「リング」、「適応」、「矩形」などの領域を非表示にします。

「エンハンスメントを非表示にする」「クリッピング」、「濃淡レベルのストレッチ」、「パワーフィルター」などのエンハンスメントを非表示にします。

「空ポケットを非表示にする」および「統計から除外した検査を表示する」「空ポケットを非表示にする」または「統計から除外した検査を表示する」を表示または非表示にします。

限界値を変更するこのメニューの上部の2セクションで、グリッドの列と行の数を変更します。これらは、「列を表示する」および「表示オプション」と同じです。

エラー限界を使用する「トリガー(%)」の値を超えると、「不良率(%)」と「直近のN個に占める割合(%)」の列が「赤色」で表示されます。これらの統計が、離れた場所からでも見やすくなります。

警告限界を使用する「トリガー(%)」の値を超えると、「不良率(%)」と「直近のN個に占める割合(%)」の列が「黄色」で表示されます。これらの統計が、離れた場所からでも見やすくなります。

ソート結果を消去する並べ替え順序をデフォルトの設定に戻します。

レポート

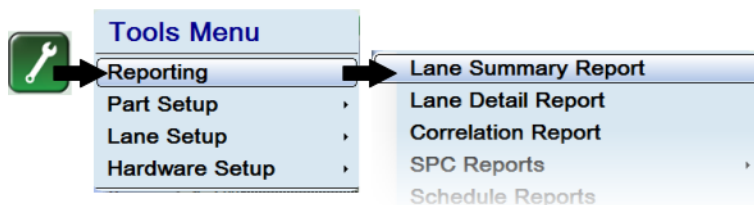
検査の詳細を示す、さまざまなレポートを、Intellispecによって生成することができます。その多くを、Intellispecから外部に転送することができます。

注意: ハイレベルのユーザーでなければ使用できないメニュー項目も存在します。

 レポートを表示するには、「レーン」ボタン、「ツール」、「レポート作成」の順に選択します。

- 1 - "レーンの概要レポート" 下
- 2 - "レーン詳細レポート" 次のページ
- 3 - "関連レポート" 次のページ
- 4 - SPCレポート (SPC = 統計的工程管理)

レーンの概要レポート



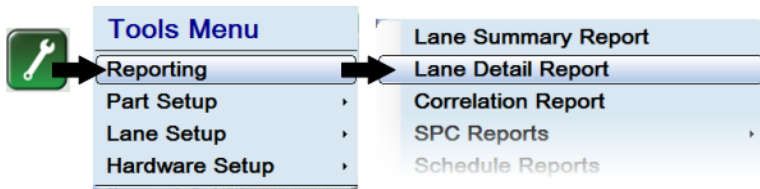
このレポートにはレーンの統計情報が表示され、下記の情報が含まれています:

- 検査した部品の個数
- 不良品の個数
- 不良率(%)

上記の個数がセンサー別に、および、このレーンの総数として表示されます。1レーンシステムの例を下記に示します。

Inspection	Parts	Defects	Defect %	Last N	Last N %
BNS	3456	1614	46.701	0	0.000
Base	3456	692	20.023	0	0.000
Sensor	3456	231	6.684	0	0.000
Seal	3456	691	19.994	0	0.000

レーン詳細レポート

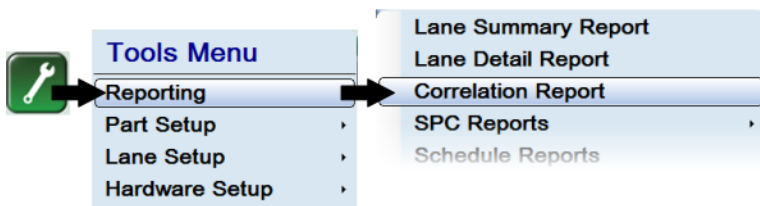


このレポートには、レーンの概要レポートのすべての情報と各センサーの検査の詳細が含まれています。

Lane Detail Report.txt - Notepad

Inspection	Parts	Defects	Defect %	Last N	Last N %
BNS	3456	1614	46.701	0	0.000
Base	3456	692	20.023	0	0.000
Empty Pocket ROI	3456	0	0.000	0	0.000
Empty Pocket	3456	0	0.000	0	0.000
True Center ROI	3456	0	0.000	0	0.000
True Center	3456	0	0.000	0	0.000
Outer Base ROI	3456	0	0.000	0	0.000
Outer Base Inspection	3456	231	6.684	0	0.000
Spoke Defects ROI	3456	0	0.000	0	0.000
Black and white	3456	0	0.000	0	0.000
Clipping	3456	0	0.000	0	0.000
Orientation ROI	3456	0	0.000	0	0.000
Orientation	3456	0	0.000	0	0.000
Foot ROI	3456	0	0.000	0	0.000
Foot Inspection	3456	462	13.368	0	0.000
Between Foot ROI	3456	0	0.000	0	0.000
Between Foot Inspection	3456	0	0.000	0	0.000
Pearling ROI	3456	0	0.000	0	0.000
Pearling Inspection	3456	0	0.000	0	0.000
Gate Registration ROI	3456	0	0.000	0	0.000
Gate Registration	3456	0	0.000	0	0.000
Gate ROI	3456	0	0.000	0	0.000
Gate Inspection	3456	0	0.000	0	0.000
Around Gate ROI	3456	0	0.000	0	0.000
Around Gate Inspection	3456	231	6.684	0	0.000
Base Fold Inspection	3456	0	0.000	0	0.000
Off-center Gate Inspection	3456	230	6.655	0	0.000

関連レポート



このレポートには、機械部品ごとの不良品の割合が不良率の高いものから低いものへの順に並べて表示されます。

Report - Notepad

File Edit Format View Help

Machine Name: TT3400
 Part Program: FHCP3X Master
 Current Time: 6/18/2013 1:28:37 PM
 Last Reset: 6/18/2013 9:42:47 AM

'FILLER VALVE'		'CAPPER HEAD'	
#	Percent	#	Percent
28	0.18	28	0.71
112	0.18	16	0.71
136	0.18	4	0.71
16	0.18	24	0.64
76	0.18	36	0.64
88	0.18	12	0.63
100	0.18	20	0.51
52	0.18	22	0.51
40	0.18	8	0.5
64	0.18	34	0.5
124	0.17	10	0.5
4	0.17	32	0.5
144	0.16	18	0.45
60	0.16	30	0.45
24	0.16	6	0.44
36	0.16	13	0.42
96	0.16	19	0.42
84	0.16	19	0.42
108	0.16	25	0.42
120	0.16	1	0.41
		7	0.41
		31	0.41
		15	0.34

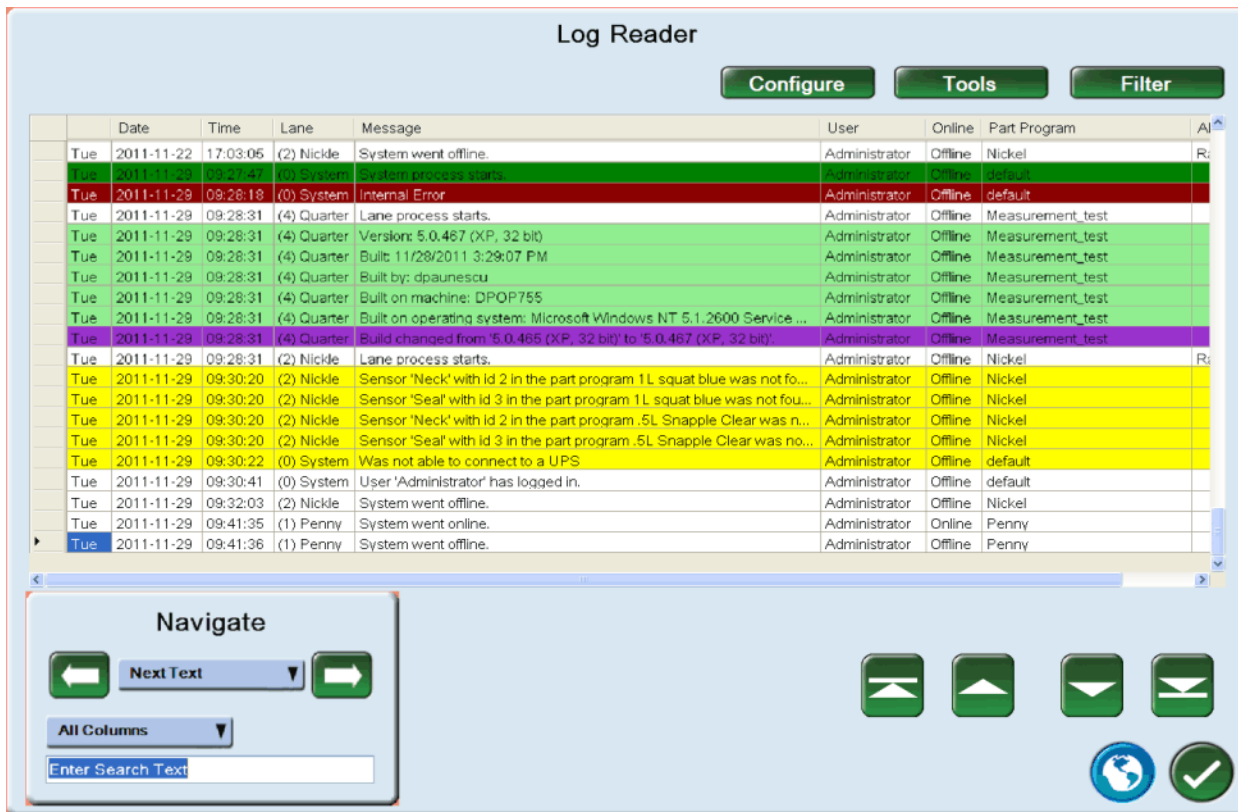
ログリーダー



このメニューを表示するには、「ホーム」、「ツール」、「ログリーダー」の順に選択します。

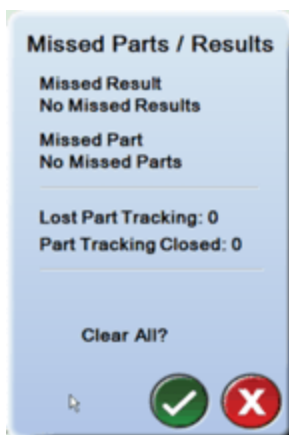
このログリーダーには、下記のIntellispecイベント履歴が表示されます：

- ユーザーのログインおよびログアウト情報
- 部品プログラムが変更されたときの通知 注意：パラメーターへの細々した変更およびプログラムの変更は、「部品プログラムの変更ログ」に記録されます。
- アラーム、トリガーおよび解除された日時
- システムエラー
- システム開始情報
- レーンのオンライン/オフライン履歴
- 照明の変更
- 生成されたレポート
- ログファイルは「C:\Pressco\Logs」に保存されています。



センサーの見落とし統計

見逃された部品数および、このセンサーの、見逃された部品のトラッキングが表示されます。「レーンの概要」または「センサーの概要」モードで、「ツール」、「レポート作成」、「センサーの見落とし統計」の順に選択します。この情報はログリーダーに記録されています。



見落とし結果これは、「排除遅延のキャリブレーション」の設定が適切でない場合に発生する可能性があります。ケーブルのねじれや断線、およびレーンの検査時間が長すぎる場合にも発生することがあります。

部品追跡が失われましたこれは、システムと部品トラッカーとの接続が切断された場合に発生します。「欠落パケット例外」のしきい値を修正することにより、接続が切断しないようにできる場合があります。

エラーメッセージ

部品トラッカーの例外

Intellispecの画面に「部品トラッカーの例外」エラーが表示された場合は、クラスターボックスまたは部品トラッカーへの電源が遮断したことを意味しています。

部品トラッカーボードをリセットする手順:

部品トラッカーボードのリセットボタンを押します。このボードは、検査モジュールまたはクラスターボックス内に配置されています。

部品追跡が失われました


「部品追跡エラー」メッセージが表示された場合は、クラスターボックスまたは検査モジュール内の部品トラッカーボードへの電源が遮断した可能性があります。前述の手順を使用して、部品トラッカーボードのリセットを行います。

セクション 12 画像を保存する

スクリーンショットを撮る

Intellispecの画面の画像を取得します。これは、「画像を保存する」機能を使用して個々の部品の画像を保存することとは異なります。スクリーンショットは、テクニカルサポートに問題を説明したり、将来の設定のために現在の設定を取得するのに役立ちます。

現在のIntellispecの完全な画面の画像を取得する手順:

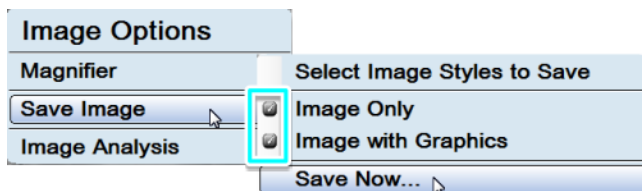
1.  「スター」ボタンを選択して、「スクリーンショットを撮る」を選択します。デフォルトの画像名が入力されたオンスクリーンキーボードが表示されます。
2. 必要に応じて、スクリーンショットの名前を変更します。
3. 「OK」ボタンを押して画像を保存します。この画像は、ポータブルネットワークグラフィック画像(.png)として「C:\Pressco\DataExport\ScreenShots」のロケーションに保存されます。

画像を保存する

Intellispecシステム内で画像を保存する方法はいくつかあります。

任意に画像を保存する:

システムのほとんどの部分で、任意の画像を右クリックして保存することができます。画面に表示される案内に従って作業を進めます。この方法は、サポートパッケージに含める画像を保存するのに便利です。



選択 = 有効化「今保存する...」をクリックします。

「画像のみ」— グラフィックが含まれていないビットマップ画像(.bmp)。注意: Intellispecに読み戻すことができるのはビットマップ画像のみです。

「グラフィック付き画像」— 検査グラフィック付きのポータブルネットワークグラフィック画像(.png)

画像は、別の場所を指定しない限り、表示されているデフォルトのロケーションに保存されます。デフォルトのファイル名が表示されています。画像の名前を変更するには、「キーボード」アイコンを選択します。



不良検出時一時停止

Freeze on Defect

レーンがオンラインのとき、自動的に画像を一時停止します。「不良検出時一時停止」には、「マルチセンサービュー」と「シングルセンサービュー」の2種類のビューが存在します。


マルチセンサービュー


「レーンの概要」画面からアクセスします。


The screenshot displays the 'Freeze on Defect' interface. At the top, there is a navigation bar with icons for home, alarm, settings, and help. The user is logged in as 'Admin_0815'. The current defect rate is 432 ppm, with a maximum of 431 ppm. The 'ALARM' panel shows 'Total Parts: 1114', 'Defects: 1114', and 'Defect %: 100.000'. A graph shows 'Defect %' vs 'Part Count (x1000)' with an 'Alarm level 12.837%'. The main view shows a large 'Color 1' image of a black plastic cap with a red defect box. Two smaller 'Main' and 'Color 2' images provide zoomed-in views of the defect. A bottom toolbar contains buttons for 'Settings', 'Hold Image', and 'Click to Release' (with a timer 'Release in 4 seconds').

- 1 オプションの「設定時間経過後に解除」機能

2 「不良検出時一時停止の設定」メニュー" ページ76に移動する

3  画像を保持する

3  画像が保持されている

4  画像がロックされている。画像のロックを解除するには、このボタンを押す。

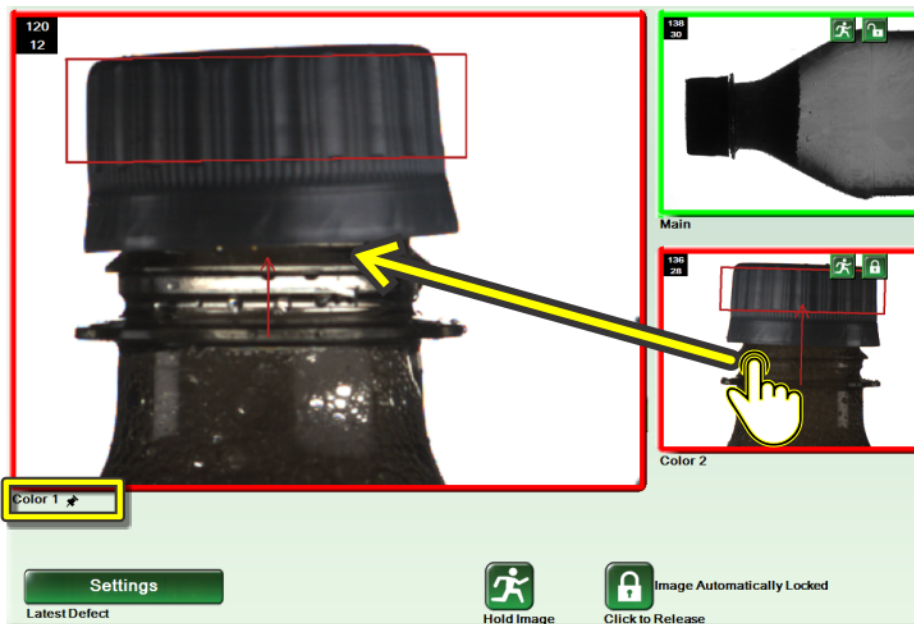
4  画像のロックが解除されている

5 これらのシンボルは、小さな画像の場合にのみ表示されます(「不良検出時一時停止の設定」メニューの、「設定」サブメニューで、「ロックした画像を並べて表示」=「最新の画像」を選択している場合)。小さな画像の右上隅の数字は、カウントダウンタイマーです(「設定時間経過後に解除」使用時)。大きな画像の方には、これらのボタンは表示されません。画像の保持は、画面の底部に配置されているボタンを使用して制御します。


どの画像も右クリックすることにより、「不良検出時一時停止オプション」メニュー" ページ77を使用することができます。

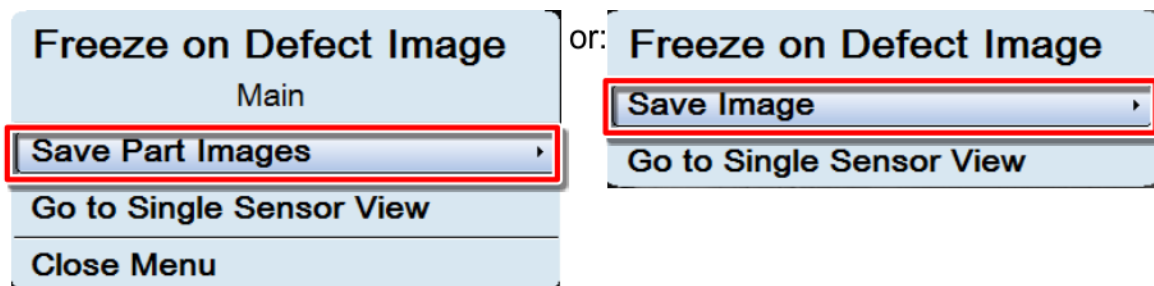
画像の貼り付け

「マルチセンサービュー」では、「ロックされている最新の画像に自動的に切り換える」が有効設定されていると、小さな画像を大きなビューに表示することができます。これにより、他の画像に置換される前に、10秒間、その画像での作業を行うことができます。小さな画像の一つを選択すると、その画像が大きな方のビューに表示され、一時的に貼り付けられます。大きな画像の左下に「押しピン」アイコンが表示されます。

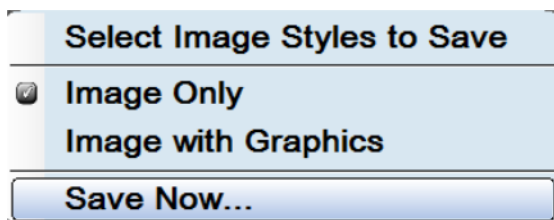


画像の保存手順:

1.  「画像を保持する」ボタンを押します。
2. 画像を右クリックします。



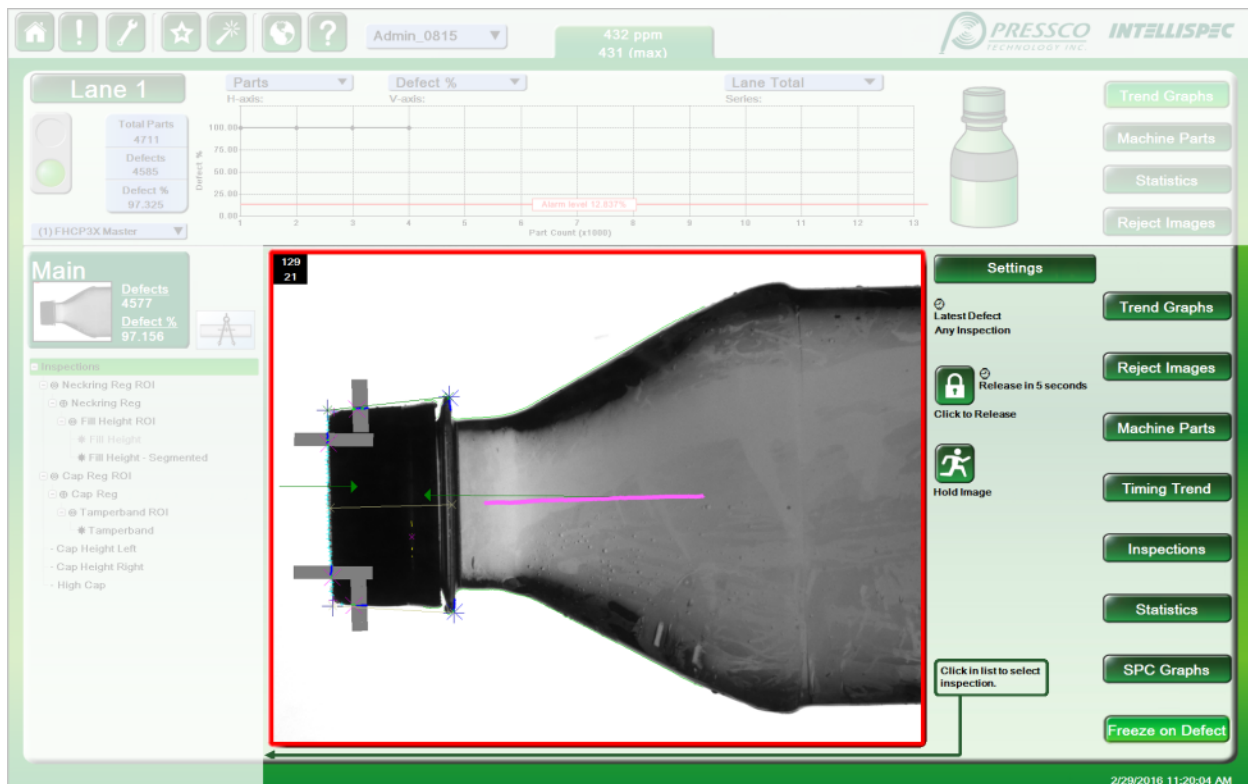
3. 「部品の画像を保存する」または「画像を保存する」を選択します(画面の表示に依存)。
4. 「画像のみ」または「画像とグラフ」を選択します。



5. 「今保存する...」を選択し、画面に表示される案内に従って作業を進めます。

シングルセンサービュー

「センサーの概要」画面から、このビューにアクセスします。検査ツリーから一時停止する検査を選択します。



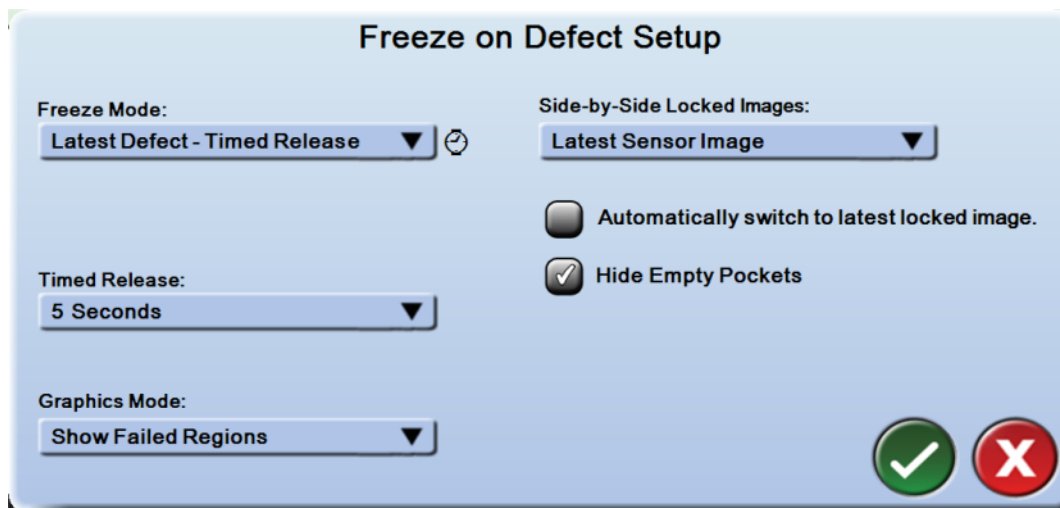
「不良検出時一時停止」の終了手順:

画面の右側の部分に表示されている、いずれかのボタン(「トレンドグラフ」など)を押します。

「不良検出時一時停止の設定」メニュー



「不良検出時一時停止」モードで、「設定」ボタンを押します。このメニューへのアクセス元の画面によって、メニューに表示されるオプションが異なります。



一時停止モード

手動ロックのみ画像を自動的に保持しません。「保持する」ボタンを押さない限り、画像は連続して更新されます。

最近の不良最後に排除された部品を一時停止します。以降の不良部品の画像は、他の部品が不良と判定されるまで、一時停止が継続されます。

最近の不良 - 設定時間に解除最後の不良画像を所定の時間保持します(保持時間は「設定時間経過後に解除」で設定)。カウントダウン中に他の不良が発生した場合は、その画像が一時停止され、「設定時間経過後に解除」のカウントダウンがリセットされます。

最初の不良オンラインに移行後の最初の不良品の画像を一時停止します。一時停止を解除するか、「一時停止モード」を変更するまで、その画像の一時停止が継続されます。

「最初の良品」オンラインに移行後の最初の良品の画像を一時停止します。一時停止を解除するか、「一時停止モード」を変更するまで、その画像の一時停止が継続されます。

機械部品選択した機械部品と相関関係がある次の部品画像を一時停止します。次の相関画像が使用可能になり、新しい画像で置換されるまで、一時停止が継続されます。機械部品を選択するには、「機械部品を選択する」ボタンを押します。

機械部品 - 設定時間に解除選択した機械部品と相関関係がある次の部品画像を一時停止します。指定した時間が経過するか、次の相関画像が使用可能になるまで、一時停止が継続されます。表示時間を設定するには、「設定時間経過後に解除」を使用します。

設定時間に解除表示時間を設定します。この時間が経過すると、新しい画像が表示されます。

グラフィックモードどの検査グラフを表示するかを選択します。

空ポケットを非表示にする有効設定にした場合:検査が空ポケットを検出したとき、そのブランク画像は表示されません。

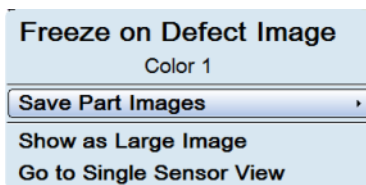
以下は「マルチセンサービュー」の場合のみに適用されます。

ロック画像を並べて表示「同じ部品」—表示される画像は、すべて同じ部品。「最新のセンサー画像」—最新の検査画像を表示。カメラの配置間隔が離れている場合は、画像が異なる部品になる可能性があります。このモードは、通常は、BNSアプリケーションの場合のように、カメラが隣接して配置されているときに使用します。「機械部品の相関」を使用しているシステムの場合は、「画像の相関値を表示する」ことができるため、各機械部品に関連のある画像を確認することができます。


「最後にロックした画像に自動的に切り換える」一時停止条件を満たした最新の画像を大きな画像に切り換えます。

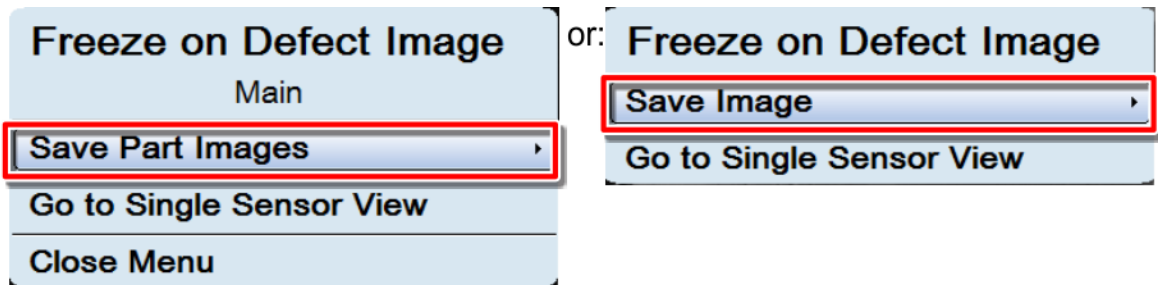
「不良検出時一時停止オプション」メニュー

「不良検出時一時停止」モードで、画像の一つを選択するか右クリックすると、このメニューが表示されます。



画像の保存手順:

1.  「画像を保持する」ボタンを押します。
2. 画像を右クリックします。



3. 「部品の画像を保存する」または「画像を保存する」を選択します(画面の表示に依存)。
4. 「画像のみ」または「画像とグラフ」を選択します。



5. 「今保存する...」を選択し、画面に表示される案内に従って作業を進めます。

大きな画像を表示する(「マルチセンサービュー」で、小さな画像の一つを右クリックすることにより使用可能)。現在の画像を大きな画像として表示します。

シングルセンサービューに移動する「センサーの概要」モードに戻って、選択したセンサーの「排除された部品の画像」を表示します。

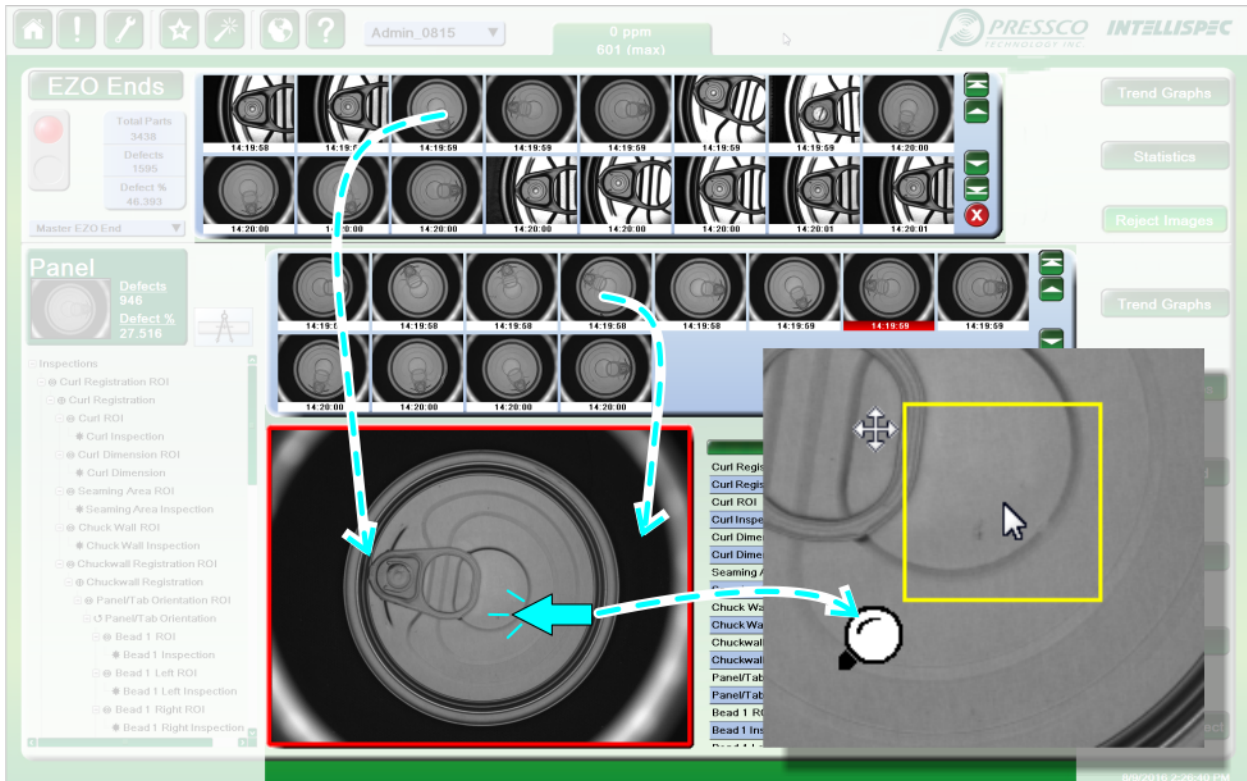
排除された部品の画像

Reject Images

排除された部品の画像は、センサー(または「レーンの概要」モード用のすべてのセンサー)による最後の100個の不良品の画像です。「排除された部品の画像」ボタンを選択します。注意:「レーン」レベルおよび「センサー」レベル用のボタンが存在します。

レーン上で排除された部品の画像レーン上のさまざまなセンサーからの不良品の画像を表示します。

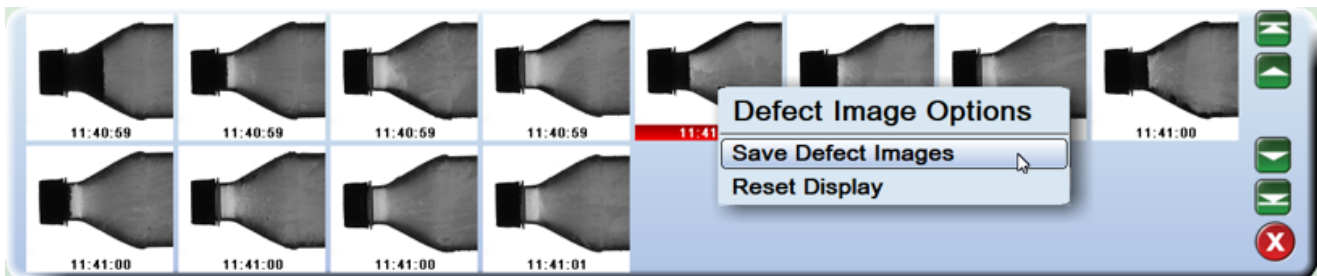
センサーで排除された部品の画像このセンサーのみの不良品の画像を表示します。



排除された部品の画像を保存する

右クリックして、不良品から最大100枚の画像 (*.bmp) を保存します。レーンはオンラインでもオフラインでもかまいません。「排除された部品の画像」ボタンが選択されている必要があります。

Reject Images



表示をリセットする 排除された部品の画像の表示をリセットして、1部品または1検査からの画像ではなく、すべての不良品を表示します。

排除された部品の画像を個別に保存する

「センサーの概要」モードで、サムネイル画像を右クリックして保存します。

セクション 12

The screenshot displays the INTELLISPEC software interface. At the top, it shows 'Operator_0815' and '0 ppm 431 (max)'. The main area is divided into several sections:


- LANE:** A graph showing 'Defect %' over time. A red line indicates an 'Alarm level @ 30.1%'. A 'Reject Images' button is highlighted with a yellow box and labeled '1'.
- Color 1:** A section for 'Defects 25' and 'Defect % 6.024'. It lists inspection items: Neckling Reg, Cap Reg, Tamperband, Cap Color, Cap Height Left, and Cap Height Right.
- Image Gallery:** A row of small images of parts. One image is highlighted with a yellow box and labeled '2'.
- Magnified View:** A large image of a part with a red box around it, labeled '3'. An 'Image Options' menu is open over it, showing options like 'Magnifier', 'Show Graphics', 'Save Image', 'Image Analysis', 'Select Image Styles to Save', 'Image Only', and 'Image with Graphics'.
- Inspection Results:** A table showing results for various inspection items. The 'Cap Color ROI' item is highlighted in red, indicating a 'Bad' result.


拡大鏡

This screenshot shows the magnifying glass tool in use. It features a grid of small images at the top, each with a timestamp. The main area shows a large magnified image of a part. A red box highlights a specific area on the part, and a yellow box highlights a smaller area within that red box. The magnification level is indicated as '4 X' at the bottom. On the right side, there are several control buttons: a magnifying glass with a plus sign, a magnifying glass with a minus sign, a magnifying glass with a crosshair, and a checkmark button. The coordinates 'X,Y = (466, 151)' and 'RGB = (63, 51, 57)' are displayed at the top right.

拡大鏡の使用手順:

セクション 12

このツールを初めて開いたときは、画像上の黄色の枠で囲まれた領域が拡大表示されています。この黄色の枠は、画面上でカーソルを動かすと、それに連れて移動します。拡大した領域をカーソルとは独立して移動するには、画像を右クリックします。矢印ボタン  が使用できるようになります。

ターゲットボタン  を選択することにより、拡大画像の十字線を表示または非表示にすることができます。十字線の中央のピクセルは、RGB値が測定される場所です。

セクション 13 ヘルプおよびサポート

このセクションに含まれている情報:

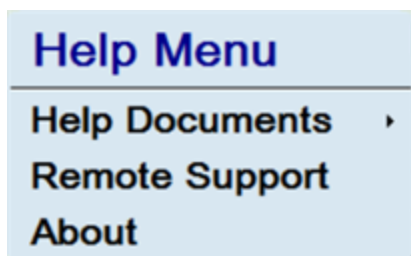
- ヘルプ
- バックアップおよび復元の機能
- Intellispecシステムを通じてテクニカルサポートに接続する方法

ヘルプ



下記を行うには「ヘルプ」アイコンを選択します:

- システムマニュアルを使用する
- Presscoリモートサポートにアクセスする
- 現在のソフトウェアバージョンを表示する



ユーザーマニュアルを表示する手順:

1.  「ヘルプ」アイコンを選択します。
2. 「ヘルプトピックス」を選択し、リストからマニュアルを選択します。ユーザーマニュアルが表示されます。

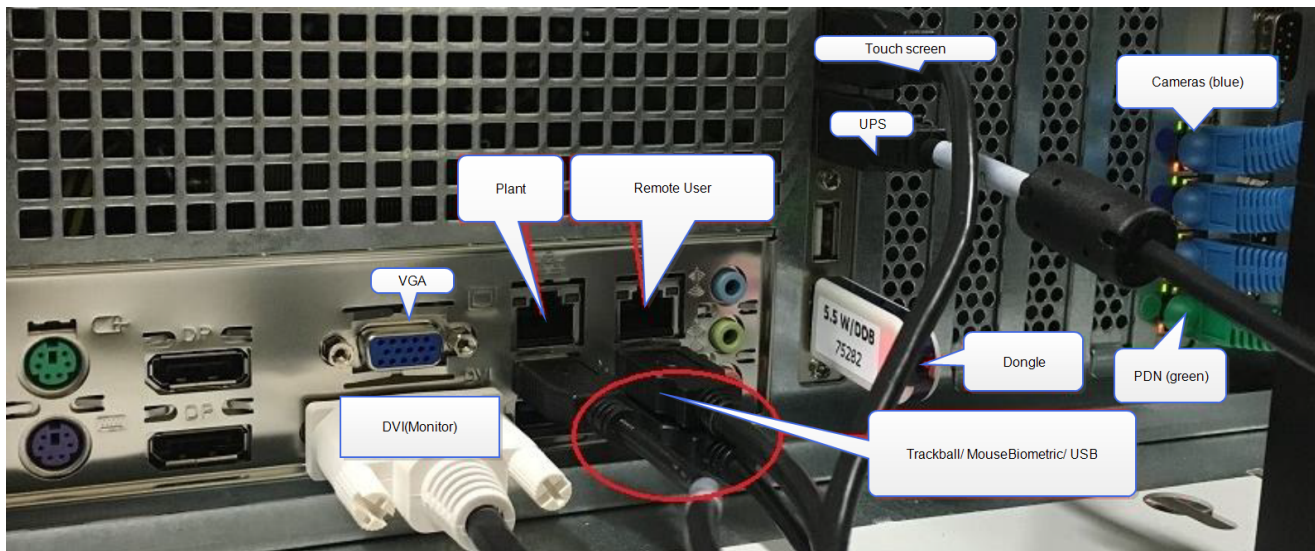
リモートサポート

すべてのPresscoシステムには、システムへのリモートサポート接続を行うための安全で効果的な手段を提供する、iTivityおよびTeam Viewerエージェントソフトウェアが組み込まれています。これにより、Presscoの技術者は、リモート環境からPresscoシステムにアクセスして、トラブルシューティングおよびシステムパフォーマンスの最適化を支援することができます。

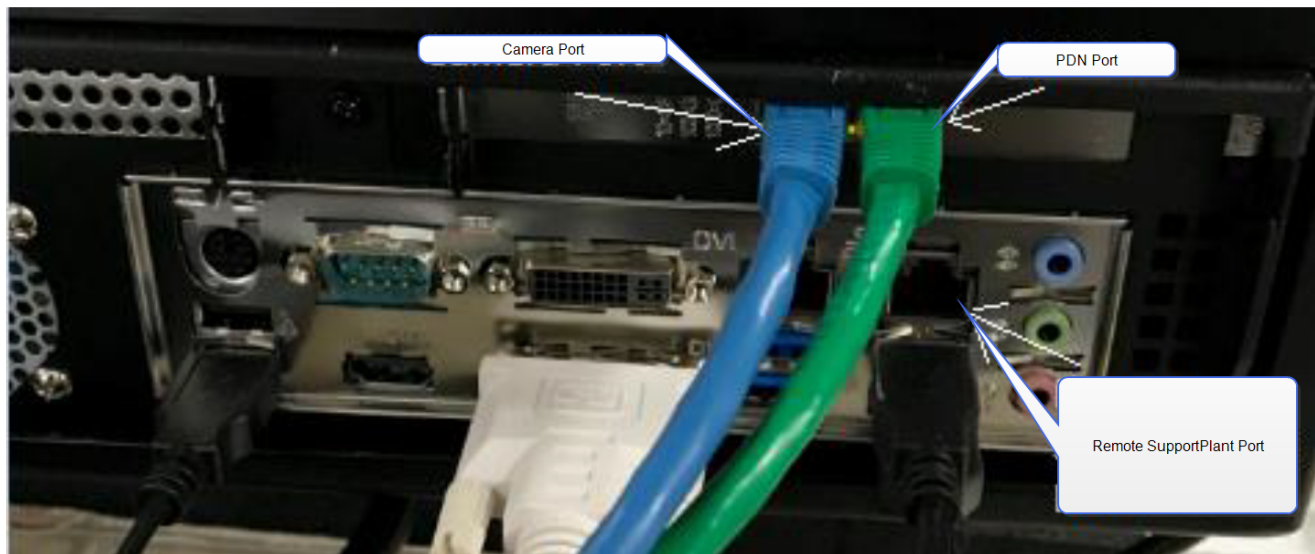
リモートサポートを利用するには、PresscoとのEthernet接続と、特別なサポートサーバーとのインターネットアクセスを用意する必要があります ("Intellispec iTivityリモートサポート" ページ84およびTeamviewerのトピックを参照)。

IntellispecシステムのEthernetポートの一般的な配置を下図に示します。「プラント」ポートまたは「リモートユーザー」ポートのいずれかを、リモートサポート接続に使用することができます。これらのポートのデフォルトの設定は「自動的にIPアドレスを取得する」ですが、ネットワークの要件に合わせて固定IPアドレスを割り当てることもできます。

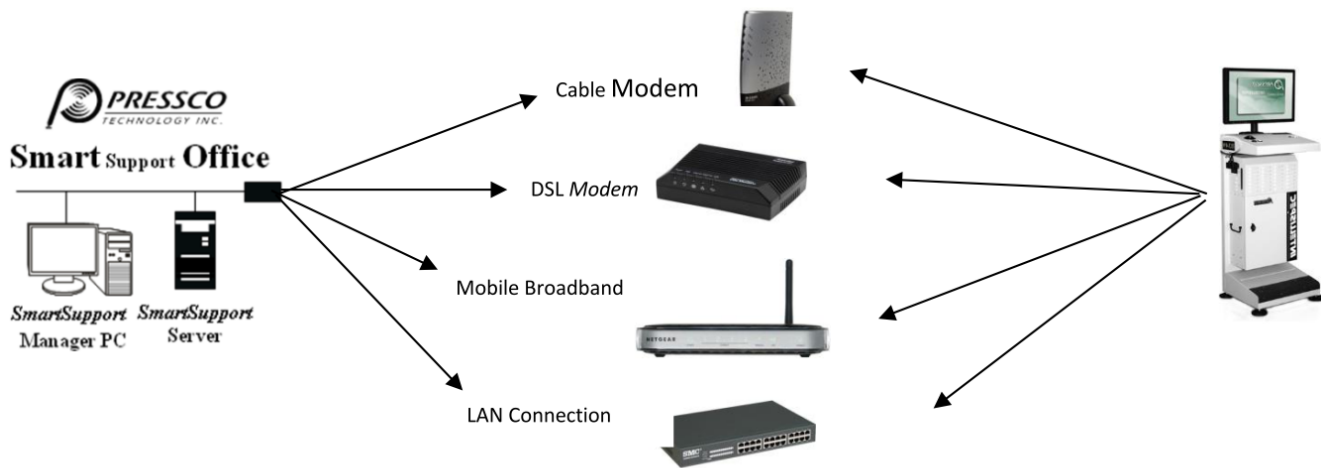
Series VのEthernetポート:



CSLシステムのEthernetポート:



接続方法: リモートサポート接続は、さまざまなネットワーク上で利用可能ですが、画像およびビデオベースのシステムであるため、利用可能な帯域幅が広ければ広いだけ、システム内をナビゲートして発生した問題の解決をより良く支援することができます。



Intellispec iTivityリモートサポート

リモートサポートを使用することにより、Intellispecソフトウェアへのリモートアクセスが可能になります。メンテナンス契約が存在するIntellispecシステムの場合は、iTivityソフトウェアを使用して、そのシステムのリモートサポートがPresscoから提供されます。

すべてのIntellispec™システムに、Presscoファイアウォールで保護されているサーバーとの暗号化された安全な接続を確立するためのiTivityエージェントソフトウェアが組み込まれています。これにより、Presscoの技術者は、リモート環境から、ご使用のIntellispecシステムにアクセスすることが可能になります。Presscoサポートチームの、登録されているメンバーのみが、リモートサポートサーバーへのアクセスを行うことができます。

リモートサポートを利用するには、IntellispecシステムとのEthernet接続と、support.pressco.comとの、ポート23800を通じてのインターネットアクセスを用意する必要があります。DNSを使用していない場合、リモートサポートサーバーのIPアドレスをPresscoから提供することができます。ファイアウォールを通じて接続する場合は、IntellispecのIPアドレスから、support.pressco.com:23800へのアクセスを可能にするためのルールを追加する必要があります。他のすべての接続は、ブロックしたままにしておくことができます。

セッションが確立されると、IntellispecシステムがPresscoのサーバー上に出現し、システムのシリアルナンバーによって識別が行われます。Presscoの技術者が、接続して、支援を行うことができます。

Presscoサポートセッションの要請方法:

Presscoサポートに連絡します。アクセスを必要とするシステムのシリアルナンバーを知らせます。Presscoが、そのIntellispecシステムにログインし、必要に応じて、トラブルシューティングを行います。

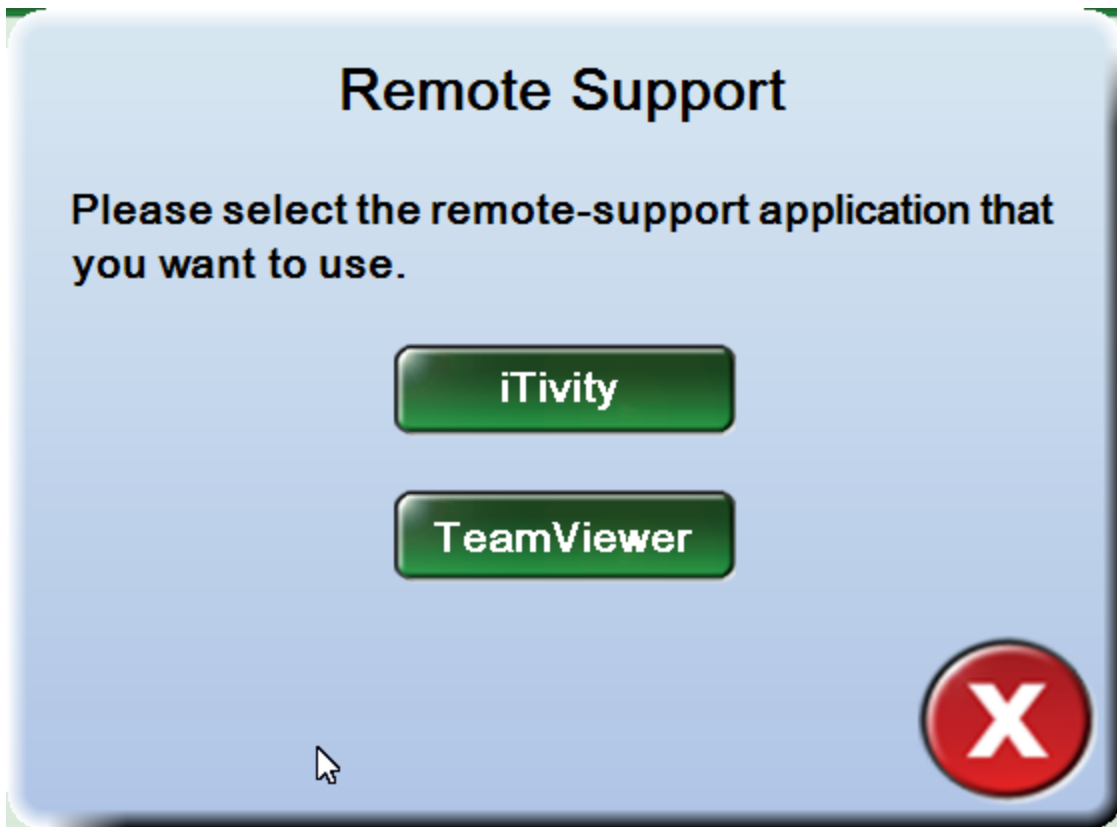
必要条件:

- 機能しているIntellispecシステム(電源が遮断されているシステムまたはIntellispecソフトウェアの実行が可能でないシステムへのリモートアクセスは不可能です)

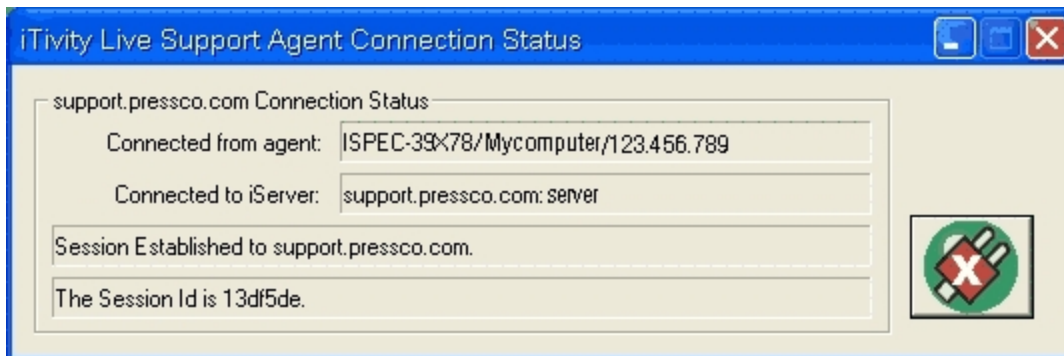
リモートサポートの利用方法:

1. リモートサポートが必要であることをテクニカルサポート担当者に通知します。要請者自身の、そのロケーションの、およびテクニカルサポート担当者が接続するIntellispecシステムの識別情報が必要です。

2.  Intellispecソフトウェアで「ヘルプ」を選択し、「リモートサポート」を選択します。



3. 「iTivity」ボタンを押します。システムからのインターネット接続が有効である場合は、iTivityエージェントによって、Presscoのサーバーへの接続が行われます。セッションが確立されたことを示す接続ステータス画面が表示されます(下図参照)。Intellispecシステムは、コンピューター名(通常はシリアルナンバー)によって識別されます。



4. 技術サポート担当者は、必要な作業を終えると、Intellispecシステムとのリモートセッションを切断します。

Intellispecシステムとのリモートセッションを自ら切断する必要がある場合は、下記の手順を使用します。

リモートサポートからの切断手順:

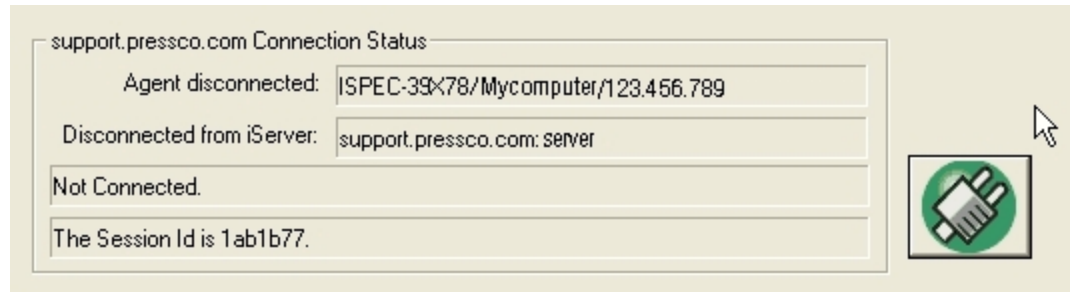
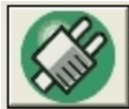
セクション 13

1. 「iTivityライブサポートエージェント 接続ステータス」ダイアログの右上隅に表示されている「X」を押します。
2. 「iTivityライブサポートエージェントを終了しますか？」が表示されたら、「OK」を押します。システムの切断が行われます。



注意: このボタンを押すと、セッションは切断されますが、リモートサポートプログラムは閉じません。

セッションの切断後、もう一度テクニカルサポートによるシステムへのアクセスを希望する場合は、もう一度、このボタンを押します。




バージョン情報

この画面には、Intellispecソフトウェアのバージョン、インストールされているオプション、および使用しているシステムについての情報が表示されます。Presscoの技術サポート担当者が、使用しているシステムのトラブルシューティングを行う際に、これらの情報が必要になることがあります。



この画面を表示するには「ヘルプ」を選択し、「バージョン情報」を選択します。

About Intellispec Series 6

 Version: 6.0.034 (Windows 10, 64 bit)
Summary for Lane 'LANE'

Part Tracker

Type	Eight Channel
Extended I/O	None
IP Address	0.0.0.0
MAC Address	00-00-00-00-00-00
FPGA Version	0x00
Firmware Version	0x0000

Main

Grayscale Camera	1228 x 924 x 256
IP Address	0.0.0.0
MAC Address	00-00-00-00-00-00


Color 1

Color Camera	640 x 480 x 256
IP Address	0.0.0.0
MAC Address	00-00-00-00-00-00

Color 2

Color Camera	640 x 480 x 256
IP Address	0.0.0.0
MAC Address	00-00-00-00-00-00

Copyright © Pressco Technology Inc.
All rights reserved.



バックアップおよび復元メニュー



このセクションには、バックアップとしてのサポートパッケージの作成およびサポートパッケージからのシステムの復元についての情報が含まれています。

Backup and Restore Menu

- 1 → Create Support Package
- 2 → Restore from Support Package
- 3 → Launch Windows Explorer
- 4 → Disk Imaging Software

1 - "サポートパッケージの作成" 下

2 - "サポートパッケージから復元する" ページ90

3 - Windowsエクスプローラーを起動する - *管理者のみ* - Windowsエクスプローラーを開いて、コンピューター上のコンテンツの表示、移動、および編集ができるようにする。

4 - ディスクイメージ作成ソフトウェア Pressco資料71789「True Image 2013」を参照。

サポートパッケージの作成


サポートパッケージは、Intellispecシステムによって収集されたファイルの集まりで、システムの問題の発見に役立ちます。このパッケージをPresscoのサービス担当者へ送ることにより、システムのトラブルシューティングに役立てることができます。このパッケージを使用して、システム構成のバックアップを行うこともできます(完全なシステムデータベースではありません)。

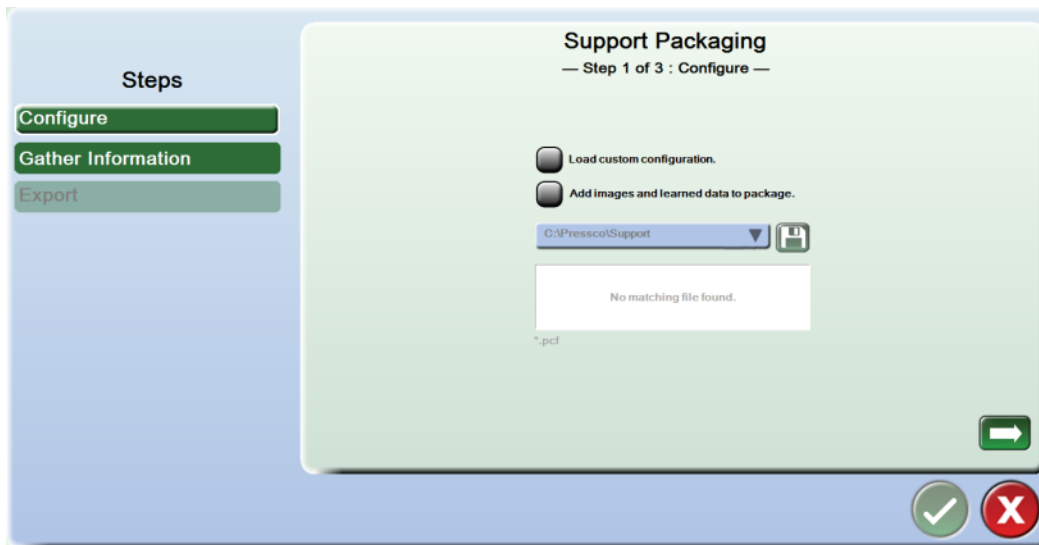
注意: Intellispecソフトウェアが起動せず、ユーザーインターフェースからサポートパッケージにアクセスできないことが稀にありますが、その場合は、Windowsから実行ファイル「C:\Pressco\bin\SupportPackaging.exe」を実行することにより、Intellispecを実行することなくサポートパッケージを作成することができます。

必要な物:

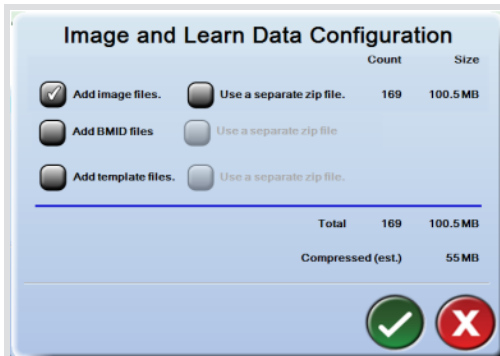
- USBフラッシュメモリ(128 MB以上)。これをUSBポートに接続する。
- Presscoのサポート担当者から提供された(追加のシステム情報を取得する)「.pcf」ファイルが手元に存在する場合は、そのファイルをUSBメモリにコピーしてから、Intellispecシステムに接続します。
- サポートファイルとともに送信する画像を保存する場合は、サポートファイルを作成する前に画像を保存しておきます。その画像はデフォルトの画像フォルダー「C:\Pressco\Lane n\Images\Sensor n」に保存しておく必要があります(「画像の保存」のセクションを参照)。

サポートパッケージの作成手順:

1.  「バックアップおよび復元メニュー」を選択して、「サポートパッケージの作成」を選択します。サポートパッケージウィザードが表示されます。
2. (任意)「手順1: 構成」で:「.pcf」ファイルまたは画像を追加します。



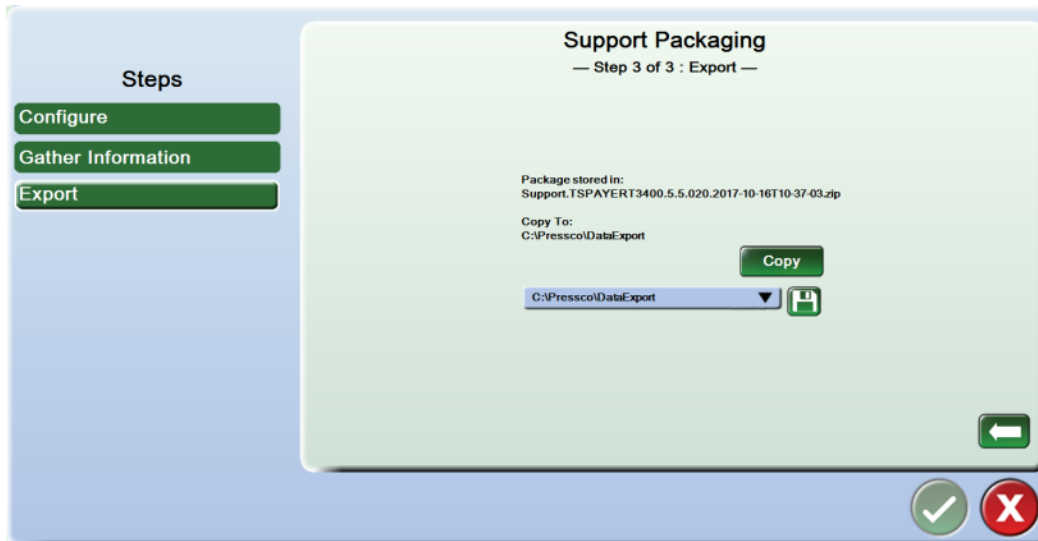
3. (任意)「カスタム構成を読み込む」チェックボックスをオンにします。「.pcf」ファイルは、標準のサポートパッケージを超える情報を収集するための、カスタムPressco構成ファイルです。Presscoのサポート担当者から「.pcf」ファイルが提供されている場合は、その「.pcf」ファイルが格納されているUSBメモリを接続します。「ディスク」アイコンを押し、その「.pcf」ファイルが格納されている位置 (USBメモリ) を指定します。システムによって、その「.pcf」ファイルの位置が認識されます。
4. (任意)「画像と学習したデータをパッケージに追加する」チェックボックスをオンにします。ダイアログ (下記参照) を使用して、画像のタイプを選択することができます。



- 「**画像ファイルを追加する**」デフォルトの画像フォルダー(C:\Pressco\Lane 1\Images\Sensor 1など) 内の画像を選択します。選択した画像と関連のあるすべてのセンサーおよびレーンが含まれます。
- 「**別のzipファイルを使用する**」サポートパッケージのzipファイルとは別に、名前に「IMAGES」が含まれるzipファイルが作成されます。選択した画像と関連のあるすべてのセンサーおよびレーンが含まれます。このチェックボックスをオンにしなかった場合、指定した画像は、サポートパッケージのzipファイル内に収容されます。
- 「**BMIDファイルを追加する**」BMID関連を使用する検査が存在する場合、BMIDフォルダー(C:\Pressco\Lane 1\BMIDなど) に格納されている画像が使用されます。
- 「**テンプレートファイルを追加する**」テンプレート登録またはテンプレート配向検査を行う場合は、検査テンプレートフォルダー(C:\Pressco\Lane 1\InspectionTemplatesなど) に格納されている画像が使用されます。

5. 画面に表示される案内に従って作業を進めます。次の画面に進むには右向きの矢印を押します。

6. 作業が完了したら、「手順3: エクスポート」画面が表示されていることを確認します。



7. 「コピー先:」のUSBフラッシュメモリを選択します。
8. 「コピー」ボタンを押します。サポートパッケージファイルがUSBフラッシュメモリにコピーされ、「正常にコピーされました」メッセージが表示されます。



9. 「OK」ボタンを押して作業を続けます。
10. 「サポートパッケージの作成」画面の下部に表示されている「OK」ボタンを押して作業を終了します。
11. USBフラッシュメモリを取り外します。
12. USBフラッシュメモリから自分のコンピューターに、保存されているファイルをコピーします。
13. 電子メールに、作成したサポートパッケージを添付して、techsupport@pressco.com宛に送信します。Presscoサービス/テクニカルサポートから、可能であれば1営業日以内に返信があります。

サポートパッケージから復元する


サポートパッケージを、稼働中のIntellispecシステムに復元(インポート)することができます。これにより、作業を反復することなく、複数のシステムで同じ設定を使用したり、別のシステムまたはPresscoテクニカルサポートが作成した良好な設定を使用することができます。

必要な物:

必要なサポートパッケージが保存されているUSBメモリ

問題の説明を入力するためのメカニカルキーボード(MKB)(現在の設定のバックアップを作成する場合)

サポートパッケージの復元手順:

1.  「バックアップおよび復元メニュー」を選択して、「サポートパッケージから復元する」を選択します。



2. システムから、現在のシステムをバックアップするかどうかの確認が行われます。「サポートファイルの作成」ボタンを選択して、現在のシステムをバックアップしておくことを推奨します。
3. 画面の案内に従って作業を進め、復元するサポートパッケージが保存されているロケーションを指定するためのダイアログが表示されたら、USBメモリ上のロケーションを選択します。
4. 復元するサポートパッケージを選択します。
5. 次の画面に進むには右向きの矢印を押します。
6. 「Series V(または6)アプリケーションが検出されました」が表示されたら、「アプリケーションを停止する」ボタンを選択して、Intellispecソフトウェアのシャットダウンを行います。サポートパッケージを復元するには、この手順が必要です。
7. サポートパッケージの復元を行うために、画面の手順4で、「Zipファイルを解凍する」ボタンを選択し、システムによるファイルの解凍が完了するのを待ちます。
8. システムにより「解凍完了」が表示されたら、進む矢印を選択して次の画面に進みます。
9. 「Discoveryを再開する」ボタンを選択して、Intellispecアプリケーションを再開します。

セクション 14 メンテナンス間隔

作業項目	説明	間隔
正しく排除されるかの点検	検査に既知の不良品を混入させ、正しく排除されることを確認する。	毎日
正しく検査されるかの点検	検査モジュールまたは排除ステーションの中または近くに、部品が詰まっていないことを確認する。	毎日
正しく検査されるかの点検	検査モジュールに汚れや汚染物質の蓄積が発生していないことを確認する。必要に応じて、清掃する。	毎日
正しく検査されるかの点検	各カメラの画像が、適切に中央に配置され、焦点が合っていて、光量が適切であることを確認する。必要に応じて調整する。	毎日
ガラス面	ガラス洗浄液を含ませた、柔らかく、清潔で、油分の存在しない布で、汚れを拭き取る。	毎日
プラスチック表面	中性洗剤を含ませた、きれいな、柔らかい、油分の存在しない布で、汚れを拭き取る。	毎日
部品検出センサーおよび投光器	中性洗剤を含ませた、きれいな、柔らかい、油分の存在しない布で、汚れを拭き取る。残留した水分を拭き取る。	毎週
"サポートパッケージの作成" ページ88	Intellispecの設定のスナップショットを作成する。	毎月
"コントロールキャビネットフィルター清掃" 次のページ	きれいな水を使用して拭き取る。油分が付着している場合は、中性洗剤を使用する。	毎月
Acronis/バックアップ	システムの完全なバックアップを作成する。	毎年

メンテナンス作業に関する注意事項

メンテナンスや修理作業を行う場合の注意事項:



主電源スイッチを切断します。スイッチの位置については、「電源投入」および「電源切断」のセクションを参照してください。



本機の操作を開始する前に、近くに人がいないことを確認してください。



保守または修理の作業で、安全システムまたは保護システムの切断または取り外しが必要な場合、人身事故または本機の損傷を確実に防止する責任のある監督者の管理下で、その作業を行う必要があります。本機のすべての操作を、制限された速度と制限された動作で実行する必要があります。



電気コンポーネントの保守または修理の作業は、必要な資格を取得している担当者のみが行う必要があります。電源を接続してテストを行う場合は、所定の注意事項を遵守する必要があります。



高所で作業する場合は、ハーネスを着用して構造物に固定し、移動する際には常に細心の注意を払う必要があります。



本機の稼働中に、機械部品の潤滑やメンテナンスの作業を決して行わないでください。

LEDに関する注意事項:



注意: LEDからの危険な光放射の可能性。LEDを直視しないでください。

コントロールキャビネットフィルターの清掃

このフィルターは、毎月1回清掃することにより最良の結果が得られます。このフィルターは、キャビネットの側面に配置されています。必要に応じて、新品に交換してください。

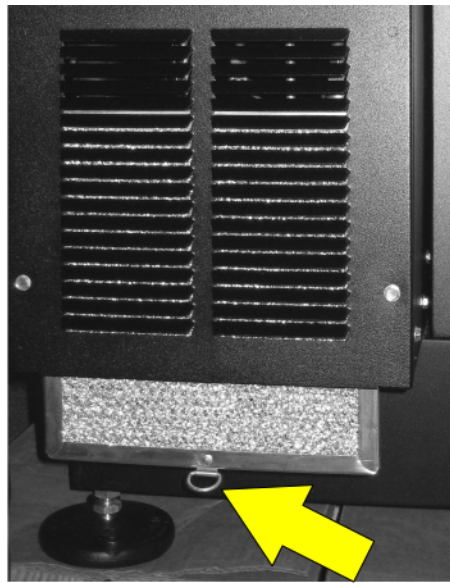
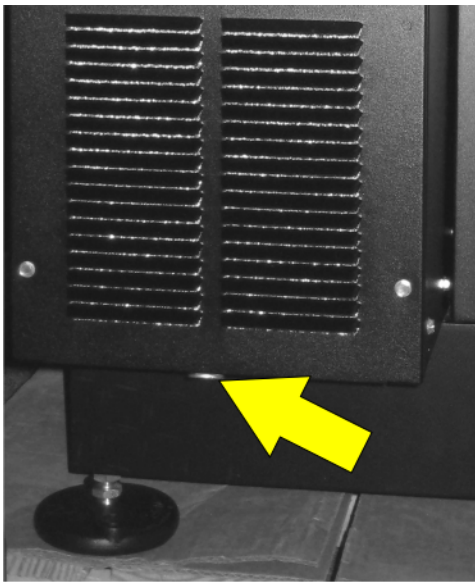
注意: 工場の状態によっては毎週交換する必要があります。

必要な物:

推奨: RP Super Filter Coat Adhesiveインターネットで検索するか最寄りのハードウェア販売店にお問い合わせください。

フィルターの清掃:

1. フィルターカバーの底部中央のリングを使用して、フィルターを下側に引き下します(下図参照)。
2. フィルターを取り外して清掃します。苛性ソーダ溶液は決して使用しないでください。
 - フィルターが乾燥した塵埃で汚れている場合は、排気側の面から吸気側へ、お湯を流して洗う。
 - フィルターが油性の塵埃で汚れている場合は、石鹼水で洗浄し、きれいな水ですすぐ。
3. フィルターを完全に乾かします(隅を下側にすることで完全に水切りすることができます)。
4. 「RP Super Filter Coat Adhesive」をフィルターに噴霧します。両面に噴霧することにより最良の結果が得られます。
5. フィルターをフィルターカバーに元どおりに取り付けます。



光学系表面の清掃

! 重要: ガラスとプラスチックの両方の表面に堆積物と汚れが付着していることがあります。このような汚れが検査ウィンドウに付着すると、誤検出や光量不足の原因になる可能性があります。誤検出を防止するため、ガラス面およびプラスチック面の清掃を常に心掛けてください。

適切な画像品質とシステムの性能を維持するために、検査モジュールの透明のガラス面およびプラスチック面の清掃を定期的に行ってください。画像に現れた汚れおよび堆積物は、誤検出(誤排除)の原因になることがあります。光学系の表面に油膜が生成されると、誤検出(誤排除)または不良品の見逃しの原因になることがあります。

ガラス面の清掃

清掃の必要なガラス面:

- カメラレンズ
- ビームスプリッター(装備している場合)
- セカンダリレンズ(装備している場合)
- セカンダリミラー(装備している場合)

ガラス面の清掃手順:

- 清浄な圧縮空気を使用して、塵埃を吹き飛ばす
- レンズ洗浄液を含ませた、きれいな柔らかい布を使用する
- カメラレンズの清掃には、レンズペーパーとレンズ洗浄液を使用する
- 表面が汚れている場合は、まずアルコールで拭き取り、次にレンズ洗浄液を使用する

注意: 洗浄の頻度は、工場およびプロセスのコンディションに依存します。

プラスチック表面の清掃 – 概要

注意: 洗浄の頻度は、工場およびプロセスのコンディションに依存します。

プラスチック表面の清掃:

セクション 14

- 圧縮空気スプレー缶を使用して、汚れを吹き飛ばす
- 中性洗剤を含ませた、きれいな柔らかい布を使用し、表面全体を拭いて汚れを完全に拭き取る
- 清浄な圧縮空気を使用して、表面を乾燥させる



禁止：ペーパータオルおよび乾燥した布の使用 – 表面を傷付ける可能性がある